

五百參拾圓ノ増加アリシニ由ル即チ左表ノ如シ

内國稅犯則處分

(△印ハ朱書)

品名	三十五年		三十四年		比較増減	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
地租	2,251	3,451	2,151	3,351	100	100
所業稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
酒稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
煙酒稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
鹽稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
糖稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
茶稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
紙稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
印刷稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
砂稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
神戶關稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
家用油稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
自家用油稅	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
十九年大藏省令第三一號	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
計	11,151	12,251	10,051	11,151	1,100	1,100

第二章 關稅犯則處分

三十五年關稅於クル關稅刑罰者ノ總數ヲ舉ケレハ内國人ニ係ルモノ參百貳拾五人外國人八拾貳人合計四百七人ナリ内國稅犯則處分ノ人員ハ内國人貳百八拾參人外國人七拾七人合計參百六拾人トス而レテ此罰料金ハ内國人ニ係ルモノ壹萬千八百拾四圓外國人ニ係ルモノ千壹圓合計壹萬貳千八百八拾五圓追徵金ハ内國人ニ屬スルモノ四千參百七拾貳圓外國人ニ屬スルモノ百參拾參圓合計四千五百五圓トス更ニ之ヲ前年ニ對照スルトキハ犯則人員ハ内國人參拾四人外國人五拾壹人處分人員ハ内國人四拾八人ヲ減少セリ而シテ内國人ニ在リテハ罰料金ニ於テ千五百八拾九圓ヲ減セシモ追徵金ニ於テハ却テ百貳拾四圓ヲ増加セリ又犯則人員并ニ處分人員ノ減少ヲ呈セシハ外國貿易船不開港ニ出入シタルモノトシテ受ゲスル關稅指定地外ヨリ貨物ノ陸揚船積其他船舶ト陸地トノ交通ヲ爲シタルモノ、關稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ關稅ヲ通脫シタルモノ、貨物ト符合セザル積荷目錄ヲ提出シタルモノ等ノ少キニ基因ス又罰料金ニ在リテハ各犯則人員減差ヲ顯ハセシニモ拘ハラズ結局合計ニ於テ内國人ニ増差ヲ呈セシハ關稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ關稅ヲ通脫シタルモノノ増差多キニ由ル之ニ反シテ外國人ノ減少セシハ同上事項ト外國貿易船不開港ニ出入シタルモノ、減差多キニ外ナラズ追徵金ニ在テハ單ニ關稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ關稅ヲ通脫シタルモノニ由ル増差ナリトス即チ左表ノ如シ

關稅犯則處分

(△印ハ朱書)

品名	三十五年		三十四年		比較増減	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
外國貿易船入港後一定時間内ニ必要書類ヲ提出セザルモノ	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
外國人	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
内國人	1,151	1,251	1,051	1,151	100	100
計	2,302	2,502	2,102	2,302	200	200

關稅犯則處分

項目	内國人	外国人	合計	増減
外國貨物積載船積荷目録提出前ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貨物積載船積荷目録提出後ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貿易船積荷目録提出前ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貿易船積荷目録提出後ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貨物積載船積荷目録提出前ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貨物積載船積荷目録提出後ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貿易船積荷目録提出前ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貿易船積荷目録提出後ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貨物積載船積荷目録提出前ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ
外國貨物積載船積荷目録提出後ニ貨物ノ積卸ヲ爲シタルモノ

項目	内國人	外国人	合計	増減
船舶積載ニ於テ積荷貨物ノ検査ヲ受ケタルモノ
輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其ノ輸入ヲ爲シタルモノ
關稅ノ運送ヲ圖リ又ハ關稅ヲ運送シタルモノ
免許ヲ受ケスシテ貨物ノ輸出若シハ輸入ヲナシ又ハ爲シタルモノ
貨物ト符合セサル積荷目録ヲ提出シタルモノ
内國人及外国人合計

第三章 關稅犯罪處分

三十五年間に於ケル關稅犯罪人員及處分人員ハ内國人及外人ナルヲ而シテ之ニ對スル罰金ハ内國人百...
三十五年前年ニ比較スルトキハ外國...

關稅犯罪處分

八二式人罰料金七百貳圓內國人ニ罰料金百拾五圓ノ増進ヲ顯ハセリ即チ左表ノ如シ

三五九

贖税犯則處分

(△ハ朱書)

贖税ノ通税ヲ關リ又ハ贖税ヲ納付セシメテ出港シタルモノ	内國人		外國人		三十五年三十四年 比 増△減	三十五年三十四年 比 増△減	三十五年三十四年 比 増△減	三十五年三十四年 比 増△減
	三十五年	三十四年	三十五年	三十四年				
對國人及外國人合計	三	三	三	三	△	△	△	△
三十五年	三	三	三	三	△	△	△	△
三十四年	三	三	三	三	△	△	△	△
三十五年	三	三	三	三	△	△	△	△
三十四年	三	三	三	三	△	△	△	△

第六款 戻税及交付金

第一章 醫藥用、工業用、酒精戻税

三十五年中ニ於ケル醫藥用、工業用、酒精ノ使用石數ヲ舉クレハ八千七百八拾七石六斗六升八合ニシテ内四百五拾石壹斗壹升ハ造石税ヲ課セラレタルモノトス右ハ新舊税率ニ依ル合計ナレトモ其内譯ヲ舉クレハ現行税率ニヨルモノハ千六百參石八斗八升參合ニシテ内參百七拾五石壹斗七升四合ハ造石税ヲ課セラレタルモノナリ又舊税率ニヨルモノハ百八拾參石七斗八升五合ニシテ内七拾四石九斗參升六合ハ造石税ヲ課セラレタルモノナリ更ニ用途ノ區別ニ付テ觀ルトキハ八拾八種ニシテ使用高ノ最モ多キハ火藥製造用ノ千八百八拾貳石四斗六升ニシテ之レニ亞クテ苦味丁機ノ千參百拾參石貳升三合尼斯製造用ノ千拾貳石七斗參升壹合トス次ハ四百石壹ニシテ阿囉仿謨精ノ四百八拾九石六斗壹升四合香水製造用ノ四百八拾八石參斗壹升貳合依的兒製造用ノ四百七拾貳石七斗九升壹合刺實煙爾精製造用ノ四百七拾四石八斗八升貳合ナリトス又煙草製造用ハ參百貳拾七石參升八合樟腦精ハ貳百參拾九石五斗四升六合石鹼製造用ハ貳百七石四升ナリ是ヨリ下テ規那丁機、龍膽丁機、善木薑丁機、沃度丁機、橙皮丁機、單寧酸、甘肅石精、杜松實精ハ孰レモ百石壹ニシテ其他ハ之ニ達セサルモノトス就中最モ小數ナルハ物櫛精ノ壹斗貳升六合ナリ今之ヲ前年ニ比較スルトキハ總石數ニ於テ貳千五百七拾五石八斗七升八合ノ減差ニシテ内造石税ヲ課セラレタルハ六百參拾參石九斗八升貳合トス是レ並シ前年ニ在テハ火藥製造ニ使用セシモノ多カリシ爲メナラフ即チ左表ノ如シ

醫藥用工業用酒精使用石數

(△印ハ朱書)

三十五年中

區	分	石	數	區	分	石	數	區	分	石	數
苦味	丁	機	一、三三〇・三	善木薑	丁	機	一、三三〇・三	沃度	丁	機	一、三三〇・三
規那	丁	機	一、三三〇・三	龍膽	丁	機	一、三三〇・三	單寧酸	丁	機	一、三三〇・三
刺實煙爾	丁	機	一、三三〇・三	樟腦	丁	機	一、三三〇・三	香水	丁	機	一、三三〇・三
煙草	丁	機	一、三三〇・三	阿囉仿謨	丁	機	一、三三〇・三	火藥	丁	機	一、三三〇・三
總計			二、七八八・九	總計			二、七八八・九	總計			二、七八八・九

醫藥用工業用酒精戻税

一五九

千四百貳拾貳圓刺煙草ノ數量四拾九萬原價參百四圓交付金六拾壹圓ナリ之レヲ前年ニ比較スルトキハ煙草ハ數量參
 萬五千八百拾參萬七千本原價拾萬九千四百拾九圓交付金貳萬貳千貳百八拾圓ヲ減少セリ又刺煙草ニ在テハ數量四千六
 百貳拾貳萬原價貳萬貳千八百八拾九圓交付金四千四百參拾七圓外ニ數量參千貳百〇ノス原價百四拾圓交付金貳拾八圓
 共ニ減少セリ

以上酒類、醬油ノ戻税及煙草交付金ノ合計ヲ揭クレハ五拾八萬貳千四百六拾八圓ニシテ此内内國人ニ係ルモノ五拾五
 萬五千八百四拾圓外國人ニ屬スルモノ貳萬六千六百貳拾八圓ナリ而シテ前年ニ對照スルトキハ内外國人通シテ五萬千
 七百八拾九圓ノ増加ヲ呈セシハ煙草ニ減差ヲ觀ルノ外酒類醬油ハ共ニ増進セシニ由ル即チ左表ノ如シ

輸出酒類、醬油戻税及製造煙草輸出交付金税關別

税關名	清酒	白酒	味淋	燒酎	麥酒	ラム酒	混成酒	計	
								數量	原價
外國人總計	1,950,000	1,000,000	1,500,000	1,200,000	1,800,000	1,000,000	1,500,000	10,000,000	100,000,000
橫濱	1,000,000	500,000	800,000	600,000	1,000,000	500,000	800,000	5,000,000	50,000,000
神戶	500,000	300,000	400,000	300,000	500,000	300,000	400,000	2,500,000	25,000,000
大阪	300,000	200,000	300,000	200,000	300,000	200,000	300,000	2,000,000	20,000,000
長崎	100,000	50,000	150,000	100,000	150,000	100,000	150,000	1,000,000	10,000,000
函館	50,000	20,000	70,000	50,000	70,000	50,000	70,000	500,000	5,000,000
合計	3,800,000	2,000,000	3,000,000	2,400,000	3,600,000	2,000,000	3,000,000	21,000,000	210,000,000
内國人	1,500,000	800,000	1,200,000	900,000	1,300,000	700,000	1,100,000	7,000,000	70,000,000
外國人	400,000	200,000	300,000	200,000	500,000	300,000	400,000	4,000,000	40,000,000
合計	1,900,000	1,000,000	1,500,000	1,100,000	1,800,000	1,000,000	1,500,000	11,000,000	110,000,000

其 一 (酒類)

輸出酒類、醬油戻税及製造煙草輸出交付金税關別

税關名	醬油	煙草	計	
			數量	原價
外國人總計	1,500,000	1,000,000	2,500,000	25,000,000
橫濱	800,000	600,000	1,400,000	14,000,000
神戶	400,000	300,000	700,000	7,000,000
大阪	200,000	150,000	350,000	3,500,000
長崎	100,000	80,000	180,000	1,800,000
函館	50,000	40,000	90,000	900,000
合計	1,750,000	1,370,000	3,120,000	31,200,000
内國人	700,000	500,000	1,200,000	12,000,000
外國人	800,000	870,000	1,670,000	19,200,000
合計	1,500,000	1,370,000	2,870,000	29,200,000

其 二 (醬油煙草)

輸出酒類、醬油戻税及製造煙草輸出交付金

年次	清酒		白酒		味淋		燒酎		麥酒		ラム酒		混成酒	
	數量	原價	數量	原價	數量	原價	數量	原價	數量	原價	數量	原價	數量	原價
三十四年	1,800,000	9,000,000	1,000,000	5,000,000	1,500,000	7,500,000	1,200,000	6,000,000	1,800,000	9,000,000	1,000,000	5,000,000	1,500,000	7,500,000
三十五年	1,900,000	9,500,000	1,100,000	5,500,000	1,600,000	8,000,000	1,300,000	6,500,000	1,900,000	9,500,000	1,100,000	5,500,000	1,600,000	8,000,000
總計	3,700,000	18,500,000	2,100,000	10,500,000	3,100,000	15,500,000	2,500,000	12,500,000	3,700,000	18,500,000	2,100,000	10,500,000	3,100,000	15,500,000

其 一 (酒類)

年次	清酒		白酒		味淋		燒酎		麥酒		ラム酒		混成酒		計
	数量	原價	数量	原價	数量	原價	数量	原價	数量	原價	数量	原價	数量	原價	
三十二年	八四一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
三十一年
三十年
二十九年
二十八年
二十七年
二十六年
二十五年
前四年比増減率

輸出酒類、醬油戻税及製造煙草輸出交付金

其二 (製造煙草)

年次	煙草		酒類		油類		其他		計
	数量	原價	数量	原價	数量	原價	数量	原價	
三十五年
三十四年
三十三年
三十二年
三十一年
三十年
二十九年
二十八年
二十七年
二十六年
二十五年
前四年比増減率

第七款 租税外收入

第一章 租税外收入收納

三十五年度ニ於ケル大藏省所管租税外歳入ハ經常臨時兩部ヲ通シテ豫算額八千七百貳拾五萬八千四百貳圓調定濟額七千五百參拾七萬五千貳拾八圓ニシテ豫算額ニ對比スルトキハ五百八拾八萬參千拾四圓ノ減差ヲ顯ハセリ而シテ三十六年三月三十一日ノ現計ニ於ケル歳入濟額ハ七千四百六拾九萬參千八百拾壹圓缺損額八千七百拾八圓ニシテ歳入未濟額六拾七萬貳千四百九拾九圓ナリトス

抑モ調定濟額ノ豫算額ニ比シ減差アル所以ハ經常部雜收入ノ款ニ於テ參拾七萬五千九百五拾五圓ヲ增加スト雖モ印紙收入ノ款ニ貳百萬千貳百壹圓官業及官有財産收入ニ千貳百貳萬九千七百參拾八圓預金利息收入ニ七拾五萬五千百參拾參圓臺灣事業公債償却金繰入ニ九拾九萬千貳百貳拾九圓教育基金繰入ニ五拾萬圓ヲ減少シタル爲メ差引合計ニ於テ千五百九拾萬千參百四拾六圓ヲ減少シ臨時部ニ於テハ雜收入ノ款ニ於テ參萬五千九百貳拾圓借入金利息收入ノ款ニ四萬參千七百五圓ヲ減少セリト雖モ官有物拂下代ノ款ニ貳萬九千四百四圓債金繰入ノ款ニ參百九拾參萬四千四百四圓公債募集金ノ款ニ六百拾萬參千八百六拾參圓雜收入ノ款利息收入ニ豫算外費萬百五拾八圓賦納金ノ款軍費賦納金ニ豫算外參百八拾八圓ヲ増シタルニ依リ差引合計ニ於テハ豫算額ニ對シ調定濟額千壹萬八千參百參拾貳圓ノ超過ヲ示スモ經常臨時兩部ヲ通スルトキハ五百八拾八萬參千拾四圓ノ減差ヲ觀ルニ至レリ然リト雖モ右ハ三十六年三月三十一日ノ現計ニ依ルモノナレバ出納閉鎖期ニ至ル迄ニハ經常部ニ在テハ印紙收入、北海道鐵道收入、印刷局益金、專賣局益金、預金利息繰入、臺灣事業公債償却金繰入、教育基金繰入、臨時部ニ在テハ償還金收入、借入金利息收入ノ豫算額合計千六百四拾四萬貳千五百參拾六圓ニ對スル大部ノ收入ヲ見ルヘケレハ決算額ニ於テハ前述ノ大差ナカルヘシ

收入濟額ハ經常部千貳百九拾壹萬貳百五拾九圓臨時部六千七百七拾八萬參千五百五拾貳圓合計七千四百六拾九萬參千八百拾壹圓缺損額ハ經常部八千六百拾九圓臨時部九拾九圓ニシテ通計八千七百拾八圓ナリ而シテ調定濟額ニ對シ歳入ヲ

租税外收入

了セサルモノ經常部ニ四拾貳萬六千參拾貳圓臨時部ニ貳拾四萬六千四百六拾七圓通計六拾七萬貳千四百九拾九圓ナリ
 更ニ本年度即チ三十六年三月末日現在ノ調定濟額七千五百參拾七萬五千貳拾八圓ヲ以テ前年度即チ三十五年十一月三十一日ノ現在調定濟額九千壹萬參百貳拾八圓ニ對照シ千四百六拾參萬五千參百圓ノ減差ヲ觀ル所以ノモノハ主トシテ前述各款ノ調定ニ至ラサルモノアルニ因ルナラン依テ左ニ租稅外收入ノ各款項ニ就テ概述セントス

歳入經常部

印紙收入

印紙收入 豫算額ハ千五百拾四萬參千貳百四拾六圓調定濟額八百五拾四萬貳千四拾五圓ニシテ豫算額ニ對シ調定濟額貳百萬千貳百壹圓ヲ減少セリ之ヲ各目ニ就テ觀レハ現金收入ニ於テ豫算額壹萬六千五百參圓ニ對スル調定濟額貳萬參千五百八拾壹圓ナルヲ以テ即チ七千七拾八圓ノ増差ヲ示シ又骨牌印紙ニ於テハ豫算外ニ調定濟額壹萬四千五百圓アルヲ以テ計貳萬壹千八拾參圓ノ増加ナリト雖モ印紙收入ニ於テ豫算額千五百拾貳萬六千七百四拾參圓ニ對スル調定濟額八百五拾萬四千四百五拾九圓ナルニヨリ調定濟額貳百萬貳千貳百八拾四圓ノ減差ヲ呈セル爲メ差引前記ノ減少ヲ觀ルモノトス

本項收入濟額ハ八百貳拾參萬貳千參百九圓ニシテ調定濟額ニ比シ參拾萬九千七百參拾六圓ノ差アルハ印紙收入ノ目ニ參拾萬九千四百九拾八圓ノ收入未濟額アルト現金收入ノ目ニ拾圓ノ缺損額并ニ貳百貳拾八圓ノ收入未濟額アルニ由ル

官業及官有財産收入

森林收入 豫算額ハ拾八萬參千九百九拾四圓調定濟額拾五萬貳千六百八拾圓ニシテ豫算額ニ對シ調定濟額參萬千參百拾四圓ヲ減少セリ之レ地所貸下料ニ六百參拾圓地所拂下代ニ貳千九拾壹圓辨償金ニ四萬四拾六圓建約金ニ五千

九拾貳圓ノ増加アリタルニモ拘ハラヌ木竹拂下代ニ七萬八千貳百九拾參圓雜種物拂下代ニ八百八拾圓ノ減差アリタルニヨリ差引前記ノ減少ヲ呈セルナリ

本項收入濟額ハ九萬千貳百四拾五圓ニシテ調定濟額ニ對シ六萬壹千四百參拾五圓ノ差アルハ缺損ヲ生シタルモノ辨償金ニ參圓建約金ニ拾五圓收入ヲ了セサルモノ各目ノ合計六萬千四百拾七圓アルニ由ル

官有物貸下料 豫算額ハ貳拾萬九千七百八拾貳圓調定濟額貳拾貳萬參千四百七拾圓ニシテ即チ調定濟額壹萬參千六百八拾八圓ノ増加ナリ之レ物品使用料ノ目ニ八拾參圓ノ減額ヲ觀ルノ外地所貸下料、建物貸下料、水面貸下料、地所使用料、水面使用料、物品貸下料、等ノ各目孰レモ増加アリタルニ由ル

北海道鐵道收入 豫算額ハ六拾八萬千六百五拾六圓調定濟額五拾五萬六千六百六拾六圓ニシテ調定濟額拾貳萬五千五百九拾圓ノ減差ヲ觀ルハ運輸收入、雜收入ノ目ニ於テ共ニ減少セシ爲メナリ

本項收入濟額ハ五拾參萬七千九百八拾圓ニシテ調定濟額ニ對シ壹萬八千八拾六圓ノ差アルハ運輸收入ニ壹萬七千九百九拾八圓雜收入ニ八拾八圓ノ收入未濟アルニ由ル

印刷局益金 豫算額ハ千七百七拾貳萬八千五百貳拾六圓ニシテ調定濟額ナキハ該益金タル年度後精算ノ上判明スヘキモノナルヲ以テ年度末日ニ於テ之レヲ知ルヘカラサルニ由ル

雜收入

專賣局益金 豫算額ハ千七百七拾貳萬八千五百貳拾六圓ニシテ調定濟額ナキハ前項ノ理由ニ同シ

免許及手数料 豫算額ハ千五百拾圓調定濟額四萬五千四百四拾七圓ニシテ調定濟額四萬參千九百參拾七圓ヲ増加セシハ國稅滯納處分ニ係ル督促手数料ヲ本項ニ移サレタルト近年流行病ノ多キ爲メ健全證書手数料ノ増加ナシト豫算外免許料ノ調定セラレタルモノアルトニ由ル

收入濟額ハ四萬貳千百拾七圓ニシテ調定濟額ニ對シ差額アルハ手数料ノ目ニ參百六拾壹圓ノ缺損額アルト收入ヲ租稅外收入

了セサルモノ貳千九百六拾九圓アルニ由ル

懲罰及沒收金 豫算額ハ參拾參萬五千五百五拾四圓調定濟額四拾九萬貳千七百拾五圓ニシテ調定濟額拾五萬七千七百六拾壹圓ヲ増加セシハ罰金及科料、沒收金、及間接國稅犯則者納金ノ各自孰レモ收入多キニ由ル
收入濟額ハ四拾九萬千貳百參拾七圓ニシテ調定濟額ニ對シ差額アルハ缺損額百拾六圓及收入了セサルモノ罰金及科料ノ目ニ千參百六拾貳圓アルニヨル

辨償及違約金 豫算額ハ貳萬貳千參百七拾參圓調定濟額五萬九千八百拾八圓ニシテ豫算額ニ對シ調定濟額參萬七千四百四拾五圓ヲ超過セシハ辨償金、違約金ノ各目トモニ増進セシニ由ル

收入濟額ハ參萬五千六百四拾參圓ニシテ調定濟額ニ對シ減差アルハ辨償金ニ六千八百七拾四圓ノ缺損アリタルト收入了セサルモノ壹萬七千參百壹圓アルニ由ル

稅關雜收入 豫算額ハ貳拾七萬七千九百八拾五圓調定濟額拾八萬貳千五百五拾七圓ニシテ調定濟額九萬五千四百貳拾八圓ヲ減少セシハ保稅倉庫其他料金ノ收入少キニ由ル

收入濟額ハ拾八萬貳千貳百五拾貳圓ニシテ缺損額貳百四圓收入未濟額百壹圓ナリトス
雜入 豫算額ハ拾六萬四千八百六拾七圓調定濟額參拾八萬四千百參圓ニシテ調定濟額貳拾壹萬九千貳百參拾六圓ノ増加ヲ呈セシハ主トシテ各廳仕拂殘金及其他ノ返納多キト之ニ亞クヲ貨幣交換差増金ノ多キト其他各目多少増加ヲ顯ハセシニ由ル

收入濟額ハ參拾七萬四千八百五拾四圓ニシテ缺損ヲ生シタルモノハ返納金ノ目ニ九百七拾六圓收入了セサルモノハ返納金、雜收、學校生徒授業料ノ目ニ合セテ八千貳百七拾參圓ナリトス

官吏遺族扶助法納金 豫算額ハ六萬八千九百九拾壹圓調定濟額七萬貳千六百貳拾壹圓ニシテ豫算額ニ對シ調定濟額四千四百參拾圓ヲ超過セシハ納金者ノ數ヲ増シタルニ由ル

收入濟額ハ七萬八百五拾七圓ニシテ收入了セサルモノ千七百六拾四圓アルハ未タ報告ナキモノアルニ由ルナラ
學校職員退隱及遺族扶助料法納金 豫算額ハ五萬五千六百四拾五圓調定濟額六萬貳千七百六拾四圓ニシテ調定濟額七千九百九圓ヲ増加セシハ納金ヲ納ムル者ノ多キヲ加ヘタルニ由ル

收入濟額ハ六萬貳千七百拾貳圓ニシテ收入了セサルモノ五拾貳圓ナリ
沖繩縣地方收入 豫算額ハ四千貳百六拾四圓調定濟額六千五百貳拾四圓ニシテ調定濟額貳千貳百六拾圓ヲ増加セシ

ハ地所家屋及物品拂下代ニ五拾七圓ノ減少ヲ觀ルト雖モ病院ニ係ル諸收入及學校生徒授業料ノ收入増加セシニ由ル
收入濟額ハ五千貳百四拾貳圓ニシテ收入了セサルモノ地所家屋及物品拂下代ニ僅ニ參圓其他ハ學校生徒授業料ニシテ千貳百七拾九圓合計千貳百八拾貳圓ナリ

小笠原島地方收入 豫算額ハ五百五拾九圓調定濟額參百五拾四圓ニシテ調定濟額貳百五圓ヲ減少セシハ地所家屋及物品拂下代ノ收入少ナカリシニ由ル

調定濟額三百五拾四圓ハ悉皆之ヲ收了セリ
預金利子繰入 豫算額ハ參百參拾萬九千八百五圓調定濟額貳百五拾五萬四千六百七拾貳圓ニシテ調定濟額七拾五萬五千百參拾參圓ヲ減少セシハ未タ報告ナキモノアルニ由ル

調定濟額貳百五拾五萬四千六百七拾貳圓ハ悉皆之ヲ收了セリ
臺灣事業公債償却金繰入 豫算額ハ百萬參百參圓調定濟額九千七拾四圓ニシテ調定濟額九拾九萬千貳百貳拾九圓ノ大減差額アルハ前項ノ事由ニ同シ

調定濟額九千七拾四圓ハ悉皆之ヲ收了セリ
租稅外收入

教育基金繰入 豫算額ハ五拾萬圓ニシテ調定濟額ナキハ未タ報告ニ接セサルカ爲ニシテ從テ收入モ亦同一ナリ

歳入臨時部

官有物拂下代

鑛山拂下代 豫算額貳拾五萬參千九百參拾六圓ハ三池鑛山拂下代ノ約定年割額ニ據リタルモノニシテ同額ノ調定ニ對シテ悉皆之レテ收入セリ

地所拂下代 豫算額ハ貳萬九百四拾壹圓調定濟額四萬五千四百九拾參圓ニシテ調定濟額貳萬四千五百五拾貳圓ヲ增加セシハ不用地所ノ拂下多カリシニ由ル

收入濟額ハ四萬貳千貳百八拾圓ニシテ收入ヲ了セサルモノ參千貳百拾參圓ナリ

建物拂下代 豫算額ハ千五百壹圓調定濟額貳千八百參拾四圓ニシテ調定濟額千參百參拾參圓ヲ增加セシハ不用建物ノ拂下多カリシニ由ル

調定濟額貳千八百參拾四圓ハ悉皆之レテ了セリ

物品拂下代 豫算額ハ參萬參百七拾七圓調定濟額參萬參千八百七拾圓ニシテ調定濟額參千四百九拾參圓ヲ增加セシハ廢兵器、水路圖誌及地圖其他不用物品ノ拂下多カリシニ由ル

收入濟額ハ參萬貳千八百參拾貳圓ニシテ收入ヲ了セサルモノ千參拾八圓ナリ

船舶拂下代 豫算額拾六萬千參百四拾九圓ハ船舶拂下代ノ年割額ニ據リタルモノニシテ調定濟額壹圓ヲ減少セシハ四拾五入ノ結果ニ外ナラス

調定濟額拾六萬千參百四拾八圓ハ悉皆之レテ了セリ

家畜拂下代 豫算額ハ百貳拾四圓調定濟額百五拾壹圓ニシテ調定濟額貳拾七圓ヲ增加セシハ家畜拂下ノ多カリシニ外ナラス

收入濟額ハ百四拾五圓ニシテ收入ヲ了セサルモノ六圓ナリ

四分利付清國債券賣却代 豫算額ハ參千參百參拾萬千八百圓ニシテ同額ノ調定ニ對シ悉皆之レテ了セリ

雜收入

返納金 豫算額ハ五萬貳千九百拾圓調定濟額拾五萬五千六拾參圓ニシテ調定濟額拾萬貳千五百五拾參圓ノ大増差ヲ生セシハ据置貸金ニ參百七拾七圓ヲ減少スト雖モ雜種貸金ニ拾萬貳千五百參拾圓ノ收入ヲ増セシニ由ル

收入濟額ハ壹萬千四圓ニシテ缺損ニ歸シタルモノ雜種貸金ニ九拾九圓收入ヲ了セサルモノ拾四萬參千九百六拾圓ナリ

清國償還金收入 豫算額ハ貳百九萬貳千拾八圓調定濟額百九拾七萬四千四百四拾五圓ニシテ調定濟額ニ拾壹萬八千七拾參圓ノ減差アルハ受領スヘキ金額確定ノ結果ニ由ル

調定濟額百九拾七萬四千四百四拾五圓ハ悉皆收入ヲ了セリ

地方分擔納付金

地方分擔納付金 豫算額ハ百拾九萬七千七百四拾壹圓調定濟額同額ニシテ收入濟額百九萬八千八百九拾壹圓ナルハ收入ヲ了セサルモノ九萬八千貳百五拾圓アリシニ由ル

債金繰入

債金繰入 豫算額ハ八百六萬五千八百五拾六圓調定濟額千貳百萬圓ニシテ調定濟額參百九拾參萬四千四百四拾四圓ヲ增加セシハ債金ヲ以テ支辨スヘキ經費年割額ノ増加セシニ由ル而シテ收入ハ悉皆之レテ了セリ

公債募集金

公債募集金 豫算額ハ四百七拾四萬圓調定濟額八百拾九萬四千六百六拾參圓ニシテ豫算額ニ對シ調定濟額參百四拾

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

租税外收入

第八款 諸貸付金及官有物年賦拂下代、防海費賦納未済金

第一章 諸貸付金

貸付金ノ種目ハ雜種貸、据置貸、民業資本金、韓國政府貸付金ノ四種ニシテ契約ニ隨ヒ收入シタルト新ニ貸下ケタルモノ及償還アルモノトヲ編入セルモノナリ

三十五年間各貸付金全体ノ概要ヲ表シテ左ノ如シ

三十五年四月一日 起在額	六、三六一、九六四
三十五年度間 増加額	五四、五七七
三十五年度間 減少額	四〇、二二二
三十六年三月三十一日 貸在額	六、三七六、三一九

三十五年度末ノ貸在額ヲ以テ年度始ノ起在額ニ對比スルトキハ壹萬四千參百五拾五圓ノ増加ヲ呈セリ是レ並ニ追加額ニ參萬參百七拾五圓總管額ニ千百參拾圓ノ増加アリト雖モ返納額ニ壹萬四千拾九圓減損額ニ貳千壹圓總管額ニ千百參拾圓ノ減少アリテ結局増加額ヲ減少額キ超過セルニ由ルモノナリ即チ其増減ノ金額ヲ區別スルトキハ左ノ如シ

増加ノ部	
運加額	三〇、三七五
總管額	一、一三〇
計	三一、五〇五
減少ノ部	
返納額	一四、〇一九
減損額	二、〇〇一
諸貸付金	一七九

貸付金、官有物年賦拂下代、防海費献納金、未済額

三十六年三月三十一日現在

種目	貸付金		官有物年賦拂下代		防海費献納金	
	金額	種目	金額	人名	金額	種目
雜種貸付金	六〇九、七〇九	漁船年賦拂下代	二〇、六七、五二八	池田榮亮	五〇〇〇	
民衆貸付金	二、〇一〇、二六四					
國庫政府貸付金	二、〇〇〇、〇〇〇					
總計	六、三三六、三三九		三〇、九七、五二八			五、〇〇〇

第九款 登録税、特種免許税及印紙

第一章 登録税

三十五年度ニ於ケル登録税ノ登録件數ハ各種通シテ五百六拾四萬九千參百貳拾件税額八百參拾六萬參千貳百拾九圓ニシテ之ヲ前年度ニ對照スルトキハ件數參拾壹萬六千貳百參拾八件税額參拾六萬四千八百八拾參圓ヲ増加セリ是レ蓋シ本年度ニ在テハ船舶、船務、土地臺帳、商會社、其他、辯護士、醫師藥劑師獸醫等、海員、著作權、國債ノ九種ニ於テ減少スト雖モ不動産、商號ノ新設取得其他、特許、意匠、商標、鑛業ノ六種ニ増加アリテ蓋引前記ノ増加ヲ示スモノトヘ又税額ニ在テハ件數ニ於テ減部ニ屬スル商會社其他、醫師藥劑師獸醫等二種ハ却テ増加ヲ呈セシ爲メ各種通シテ是亦前記ノ増差ヲ示スモノトス即チ左表ノ如シ

登録税

税額中ノX印ノ現金納シテ内書イヌ

税法種別	件數			課税標準			税額		
	三十五年度	三十四年度	比較増△減	三十五年度	三十四年度	比較増△減	三十五年度	三十四年度	比較増△減
第二條 不動産	四八六、七〇九	四四三、〇〇〇	四三、七〇九	一〇、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
第三條 船舶	五、〇〇〇	四、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇
第四條 船務	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇
第五條 土地臺帳	六、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇
第六條 商會社其他	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇
第六條ノ二 取得其他	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇
第七條 辯護士	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	九、〇〇〇	一、〇〇〇

登録税

年 度	種 類	三十五年 三十四年 比較増△減		課 税 率	三十五年 三十四年 比較増△減	
		件 数	額		件 数	額
三十五年 度	第八條 海防銃藥等類	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	第九條 著作權	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	第十條 特許	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	第十一條 意匠	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	第十二條 商標	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	第十三條 國債	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	第十四條 債	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	第十六條 計	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第八條 海防銃藥等類	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第九條 著作權	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第十條 特許	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第十一條 意匠	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第十二條 商標	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第十三條 國債	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第十四條 債	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十四年 度	第十六條 計	1,111	1,111	10%	111,100	111,100
三十五年 度	計	1,111	1,111	10%	111,100	111,100

第二章 特種免許税

三十五年度ニ於ケル特種免許状ノ枚数ヲ要クシテハ甲乙二種合計拾萬六千貳拾壹枚ニシテ内甲種一等六枚二等百四十五枚

三等九千九百六枚計壹萬五拾七枚乙種一等貳百參拾八枚二等四千五百六拾四枚三等九萬千六百六拾貳枚計九萬五千九百六拾四枚ナリ今之ヲ前年度ニ對照スルトキハ甲種ノ一等ニ貳枚ヲ増スノ外他ハ孰レモ減少ニシテ就中最モ著シキハ乙種ノ三等六千拾五枚ニシテ次ハ甲種ノ三等二千七拾五枚乙種貳等ニ參百七拾五枚同一等ニ參拾參枚ノ減蓋ニシテ結局前記ノ減少ヲ觀ルモノトス

又免除税ニ在テハ甲乙合計貳拾五萬四千六百圓ニシテ前年度ニ比シ壹萬八千五百拾圓ノ減少ヲ呈スルニ至リシハ免許出願者ノ少ナキニ基因ス即チ左表ノ如シ

特種免許税

(△印ハ米書)

其 一

年 度	種 類	三十四年度分ハ枚数ニ税率ヲ乘シ符合セサルハ舊税率ノモノアルニ依ル		三十五年度分ハ舊税法ニヨルヲ以テ單ニ其合計ヲ示セリ	
		免 状	枚 数	免 状	枚 数
三十四年 度	第一等	1	1	1	1
三十四年 度	第二等	1	1	1	1
三十四年 度	第三等	1	1	1	1
三十四年 度	第四等	1	1	1	1
三十四年 度	第五等	1	1	1	1
三十四年 度	第六等	1	1	1	1
三十四年 度	第七等	1	1	1	1
三十四年 度	第八等	1	1	1	1
三十四年 度	第九等	1	1	1	1
三十四年 度	第十等	1	1	1	1
三十四年 度	第十一等	1	1	1	1
三十四年 度	第十二等	1	1	1	1
三十四年 度	第十三等	1	1	1	1
三十四年 度	第十四等	1	1	1	1
三十四年 度	第十五等	1	1	1	1
三十四年 度	第十六等	1	1	1	1
三十四年 度	第十七等	1	1	1	1
三十四年 度	第十八等	1	1	1	1
三十四年 度	第十九等	1	1	1	1
三十四年 度	第二十等	1	1	1	1
三十四年 度	第二十一等	1	1	1	1
三十四年 度	第二十二等	1	1	1	1
三十四年 度	第二十三等	1	1	1	1
三十四年 度	第二十四等	1	1	1	1
三十四年 度	第二十五等	1	1	1	1
三十四年 度	比較増△減	△	△	△	△
三十五年 度	第一等	1	1	1	1
三十五年 度	第二等	1	1	1	1
三十五年 度	第三等	1	1	1	1
三十五年 度	第四等	1	1	1	1
三十五年 度	第五等	1	1	1	1
三十五年 度	第六等	1	1	1	1
三十五年 度	第七等	1	1	1	1
三十五年 度	第八等	1	1	1	1
三十五年 度	第九等	1	1	1	1
三十五年 度	第十等	1	1	1	1
三十五年 度	第十一等	1	1	1	1
三十五年 度	第十二等	1	1	1	1
三十五年 度	第十三等	1	1	1	1
三十五年 度	第十四等	1	1	1	1
三十五年 度	第十五等	1	1	1	1
三十五年 度	第十六等	1	1	1	1
三十五年 度	第十七等	1	1	1	1
三十五年 度	第十八等	1	1	1	1
三十五年 度	第十九等	1	1	1	1
三十五年 度	第二十等	1	1	1	1
三十五年 度	第二十一等	1	1	1	1
三十五年 度	第二十二等	1	1	1	1
三十五年 度	第二十三等	1	1	1	1
三十五年 度	第二十四等	1	1	1	1
三十五年 度	第二十五等	1	1	1	1
三十五年 度	比較増△減	△	△	△	△
三十五年 度	計	1	1	1	1

特種免許税

狩獵免許稅

(△印ハ朱書)

其 二

年 度	免 稅			種 許			種 額		
	甲	乙	丙	計	甲	乙	丙	計	
三十五年	1,200	1,450	1,980	4,630	4,760	4,960	1,810	11,160	
三十四年	1,100	1,400	1,900	4,400	4,500	4,700	1,770	10,870	
三十三年	1,000	1,300	1,800	4,100	4,200	4,400	1,700	10,400	
三十二年	900	1,200	1,700	3,800	3,900	4,100	1,630	10,030	
三十一年	800	1,100	1,600	3,500	3,600	3,800	1,560	9,660	
三十年	700	1,000	1,500	3,200	3,300	3,500	1,490	9,290	
二十九年	600	900	1,400	2,900	3,000	3,200	1,420	8,920	
二十八年	500	800	1,300	2,600	2,700	2,900	1,350	8,550	
二十七年	400	700	1,200	2,300	2,400	2,600	1,280	8,180	
二十六年	300	600	1,100	2,000	2,100	2,300	1,210	7,810	
二十五年	200	500	1,000	1,700	1,800	2,000	1,140	7,440	
三十四年比較増△減	100	100	100	230	100	200	60	530	
合計	11,500	13,500	18,000	44,000	45,000	47,000	17,000	148,000	

第三章 印紙類賣捌人員

三十六年一月一日現在ノ印紙類賣捌人員ヲ舉ケレハ壹萬參百七拾參人ニシテ内元賣捌人ハ四拾六人ナリ之ヲ前年ニ對照スルトキハ元賣捌人ニ於テハ壹人ヲ増シ賣捌人員ニ在テハ恩給ヲ受クル者千八百八拾五人ニシテ拾五人ヲ増シ扶助料ヲ受クル者九百貳拾九人ニシテ貳拾貳人ヲ減シ一般人民ハ八千貳百拾參人ニシテ四百六拾八人ヲ減シ以上通シテ四百七拾四人ノ減差ヲ呈セリ即チ左表ノ如シ

印紙類賣捌人員

(△印ハ朱書)

年 次	元 賣 捌 人	賣 捌 人			合 計
		恩給ヲ受クル者	扶助料ヲ受クル者	一般人民	
三十六年一月一日	46	1,833	9,291	8,133	10,377
三十五年同	45	1,770	9,511	8,681	10,180
三十四年同	44	1,707	9,448	8,629	10,047
三十三年同	43	1,644	9,385	8,577	9,914
三十二年同	42	1,581	9,322	8,525	9,781
三十一年十二月卅一日	41	1,518	9,259	8,473	9,648
三十年同	40	1,455	9,196	8,421	9,515
二十九年同	39	1,392	9,133	8,369	9,382
二十八年同	38	1,329	9,070	8,317	9,249
二十七年	37	1,266	9,007	8,265	9,116
二十六年	36	1,203	8,944	8,213	8,983
二十五年	35	1,140	8,881	8,161	8,850
三十四年比較増△減	1	63	62	52	177
合計	46	18,333	92,911	81,333	103,777

第十款 税關經費及職員附税關管轄區域

第一章 税關經費

三十五年度ニ於ケル税關經費ハ各税關通シテ現豫算額六拾七萬貳千四百五拾圓ニシテ其支出額六拾六萬八千六百九拾參圓殘額參千八百五拾七圓ナリトス右ハ三十六年三月三十一日ノ現計ナルヲ以テ出納閉鎖期限迄ニハ尙支出ヲ要スヘキモノアルハ免レサルノ數ナリトス合現支出額ヲ以テ前年度分六拾參萬千七百九拾八圓ニ對比スルトキハ本年度ノ超過スルコト參萬六千八百九拾五圓ナリ是レ蓋シ重ニ俸給諸給ノ項ニ於ケル參萬四千六百六拾五圓ノ増加ニ因ルモノニシテ其他各項目ニ就テ列舉スレハ廳費ノ項ニ於テハ備品費、圖書及印刷費、筆紙墨文具ニ減少スルモ消耗品其他ニ増差アル爲メ差引四百七拾五圓ヲ増加セテ修繕費ノ項ニ於テハ横濱税關棧橋修繕費、横濱税關倉庫修繕、横濱税關石造棧道修繕ニ減差アルノ外他ハ就レモ増加セシヲ以テ差引貳圓ノ超過ナリトス死傷手當ノ項ニ於テハ壹圓ヲ減少シ旅費ノ項ニ於テハ外國旅費ニ九拾五圓ノ増加ヲ生セシモ内國旅費ニ於テ參千六百九拾四圓ヲ減シタル爲メ差引參千五百九拾九圓ノ減少ナリトス雜給及雜費ノ項ニ於テハ官吏療治料、被服費ニ減少ヲ觀ルモ其他ハ増加ニシテ就中給與、傭人料ニ最も多クヲ増加シ爲メニ合計壹萬六百四拾六圓ヲ増加セリ從價稅品買上代ノ項ニ參千貳百貳拾圓收容貨物及無請求費ノ項ニ千六百參拾參圓機密費ノ項ニ拾九圓ヲ減シ犯則者處分費ノ項ニ七拾八圓ヲ増シ結局總計ニ於テ増減差引參萬六千八百九拾五圓ノ増加ナリトス即チ左表ノ如シ

項 目	三十五年度		三十四年度		支出額前年度 比増減
	現豫算額	支出額	現豫算額	支出額	
俸給	11,500	11,500	11,500	11,500	
雜給	3,812	3,812	3,812	3,812	
廳費	11,500	11,500	11,500	11,500	
修繕費	11,500	11,500	11,500	11,500	
機密費	11,500	11,500	11,500	11,500	
收容貨物及無請求費	11,500	11,500	11,500	11,500	
買上代	11,500	11,500	11,500	11,500	
其他	11,500	11,500	11,500	11,500	
合計	67,245	66,869	67,245	66,869	

(△印ハ未費)

其 一

税關經費

一八九

税關名	雜給及雜費			從價稅品 買上代	收買貨物及 無請求品費	犯則處分費	機密費合	計
	職員給	備入料	被服費					
神戶	四、六三九	一四、二九七	一、〇〇一	五、九九三	二、二五一	一三	七、〇〇	二、四、五、四、九
大阪	一、六〇三	三、九七九	二、二五九	一、八三九	六、七	一〇	三、八〇	四、八、九、〇〇
長崎	二、二四九	一〇、三九九	八、二二六	三、二九九	四、五〇	五、五	六、三〇	一、二、八、七、八
函館	八七九	三、三三三	一、八二〇	一、一〇〇	一、一〇〇	四	一、三〇	四、五、七、〇〇
合計	一、四、四、九八	五〇、一九七	三、四、三五二	一、六、六、〇三	二、九九九	三、七、八〇	二、五、四、〇	六、六、八、六、九三

第二章 税關臨時部經費

三十五年度中ニ於ケル税關臨時部經費ノ現豫算額ハ拾壹萬八千七百五拾七圓ニシテ支出額ハ拾萬九千參百七拾七圓ナレハ其殘額九千參百八拾圓ナリ右ハ三十六年三月三十一日ノ現計ニ係ルヲ以テ出納閉鎖期ニ至ル迄ニハ異動アルモノトス即チ左表ノ如シ

税關臨時部經費		三十五年	
款項	現豫算額	支出額	殘額
新修費	八、三、九、四四	八、三、九、四四	〇
修繕費	四、三、八、〇	四、三、八、〇	〇
横濱税關倉庫其他印床新設費	一、八、一、九七	一、〇、九、六九	七、二、二八
計	一〇、六、五、三三	九、九、三、三九	七、二、八五
災害費	四、八、八、三一	四、八、〇、九	八、八、二二
横濱税關管造其他風害復舊費	一、七、七、三三	一、七、〇、三	七、三〇
横濱税關橋樑風害復舊費	三、一一、〇	三、一一、〇	〇
横濱税關橋樑及船舶損害復舊費	三、一一、〇	三、一一、〇	〇
神戶税關其他風害復舊費	二、九、一	二、七、一	二、〇
長崎税關其他風害復舊費	一、三、九	一、三、九	〇
計	一三、三、三三	一〇、一、三七	三、二、〇五

總計	一、一八、七、五七	一〇、九、三、三七	九、三、八〇
----	-----------	-----------	--------

第三章 收入額及輸出入額ニ對スル税關經費

三十五年度ニ於ケル海關税關稅及諸收入額百圓ニ對スル税關經費ノ割合ヲ舉クレハ横濱税關ハ參圓拾七錢壹厘、神戶ハ參圓五拾八錢、大阪ハ四圓九拾九錢八厘、長崎ハ九圓五拾四錢參厘、函館ハ拾五圓貳拾八錢五厘ヲ要シ各税關通シテ平均四圓貳拾錢六厘ナレハ横濱、神戶ノ二税關ハ此平均以下ニ位セリ
又輸出入品ノ價額壹萬圓ニ對シ其經費ノ割合ヲ觀ルトキハ横濱税關ハ九圓四拾九錢四厘、神戶ハ九圓六拾九錢參厘、大阪ハ拾四圓貳拾六錢四厘、長崎ハ貳拾八圓參拾錢八厘、函館ハ六拾壹圓六拾六錢五厘ニシテ各税關通シテ平均拾貳圓拾貳錢參厘ノ經費ヲ要セシモノトス
更ニ之ヲ前年度ニ對照スルトキハ海關税關稅及諸收入額百圓ニ對スル税關經費ハ貳拾四錢參厘輸出入品ノ價額壹萬圓ニ對スル經費ハ貳拾貳錢ヲ減少セリ抑モ此減差ヲ生セシ所以ハ本年度ニ在テハ收入額并輸出入品價額共ニ前年度ニ比シ増加セシニモ拘ハラズ之ニ要セシ經費ハ其割合ニ重加セサリシ結果ナリトス即チ左表ノ如シ

收入額及輸出入額ニ對スル税關經費割合 (△印ハ朱書)

税關名	税關經費	海關税關稅及諸收入		輸出入品價額	
		同對スル經費	同對スル經費	同對スル經費	同對スル經費
神戶	二、四、五、四八	五、九九二、八五七	二、五、八〇	三、三、三、九、四、〇〇	九、四、九、四
大阪	四、八、九〇〇	九、七、八、三三〇	四、九、九、八	三、四、三、二、二、七、一	九、六、九、三
長崎	二、二、八、七、八	一、三、四、九、五、一、八	二、九、九、〇、一、五	四、五、四、九、九、四、三	二、八、二、六、四
函館	四、五、七、〇〇	二、九、九、〇、一、五	五、二、八、五	七、四、一、一、六、三、六	二、八、六、五
總計	六、六、八、六、九三	一、五、八、九、六、八〇	四、二、〇、六	一、五、一、五、八、九、〇、三三	一、二、一、三、三

第十一款 内國稅徵收費及職員附稅務監督局並稅務署管轄區域

第一章 内國稅徵收費

三十五年度ニ於テ各稅務監督局ノ内國稅徵收費トシテ支出シタル其景況ヲ舉クレハ總計現豫算額參百七拾四萬四千四百拾五圓支出額參百七拾壹萬七千四百六拾七圓ニシテ差引殘額貳萬六千九百四拾八圓ナリ右ハ三十六年四月末日報告ノ實績ニ據ルモノニシテ爾來追申ニ依リ訂正ヲ加フト雖モ未タ以テ完結ニ至ラサルモノアリ故ニ右ノ殘額ヲ見ルモノナレハ出納閉鎖期ニ至ラハ概テ支出ニ歸スルモノトス今之ヲ前年度ノ支出額參百四拾七萬九千九百八拾五圓ニ比較スルトキハ貳拾四萬五千四百八拾貳圓ノ超過ナリトス蓋シ斯ノ増差ヲ生セシ所以ハ廳費ノ項ニ九千九百九拾參圓、旅費ノ項ニ壹萬千八百八拾四圓、所得稅調查費ノ項ニ貳千五百拾參圓、市町村交付金ノ項ニ四千八百九拾七圓、沖繩縣稅品取扱費ノ項ニ參拾八圓合セテ貳萬九千參百貳拾五圓ヲ減少スト雖トモ俸給及諸給ノ項ニ拾萬七千五百五拾七圓、修繕費ノ項ニ九百參拾五圓、賠償及訴訟費ノ項ニ千七百拾六圓、雜給及雜費ノ項ニ拾參萬七千九百五拾圓滯納及犯則者處分費ノ項ニ壹萬參千九百六拾圓印紙鑑札類諸費ノ項ニ九千四百參拾參圓災害地免租處分費ノ項ニ參千六百五拾六圓合セテ貳拾七萬四千八百七圓ノ増加アリシニヨリ差引貳拾四萬五千四百八拾貳圓ノ増差ヲ呈スルモノトス

更ニ以上ノ支出額ヲ各稅務監督局別ニ調査スルトキハ別表ノ如クニシテ其分配額ノ多キモノヨリ順次之ヲ舉クルトキハ第一ハ東京ニシテ之ニ亞クヲ仙臺、熊本、長野、名古屋、九龍、鹿兒島、廣島、神戸、大阪、宇都宮、金澤、秋田、横濱、京都、札幌、長崎、松江外ニ大藏省トス即チ左ノ數表ノ如シ

内國稅徵收費

(△印ハ未盡)

第二章 内國稅徵收費各稅別

三十四年度ノ内國稅徵收費ハ各稅通シテ參百四拾七萬七千五百七拾七圓ニシテ就中多額ヲ要セシハ第一酒造稅ノ百九萬千八百八拾六圓ニシテ之ヲ元稅務管理局ニ就テ觀ルトキハ鹿兒島最多ク第二ハ地租ノ九拾參萬八千四百參拾六圓ニシテ東京ノ九萬貳百九圓第一位ヲ占ム今收入濟額百圓ニ對スル徵收費ノ割合ヲ觀レハ各局ヲ通シテ貳圓六拾錢六厘ナリトス而シテ其ノ割合ノ最モ多額ナルモノヨリ列舉スルトキハ根室ハ貳拾參圓七拾八錢四厘函館ハ拾壹圓貳拾錢七厘ノ多額ニシテ之ニ次クヲ那覇ノ六圓九拾七錢五厘札幌ノ五圓九拾九錢八厘トス其他秋田、青森、松江ハ參圓以上ヲ要シ丸龍、郡山、横濱、長崎、仙臺、金澤、松本ノ七局ハ平均額以上ニシテ新潟、宇都宮、廣島、松山、名古屋、東京、熊本、京都、大阪、神戸ノ十局ハ平均額以下ナリトス就中神戸局ハ其割合最モ少額ナリ之レ酒造稅ニ於テ多額ノ收入アルニ其因ス又之ヲ前年度ノ收入濟額百圓ニ對スル徵收費ノ割合貳圓五拾貳錢貳厘ニ對照スルトキハ本年度ノ増加スルトハ八錢四厘ナリトス即チ左表ノ如シ

内國稅徵收費各稅別		其 一	
稅務管理局名	地租	所得稅	營業稅
大藏	九〇,〇〇〇	六六,三七一	八九,〇二七
東京	三三,〇〇〇	一八,二二二	二〇,七〇〇
京都	四〇,〇〇〇	二六,一九八	二〇,〇〇〇
大阪	四〇,〇〇〇	二六,一九八	二〇,〇〇〇
神戶	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
長崎	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
新加	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宇都宮	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
名古屋	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
松本	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
金澤	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
秋田	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
青森	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
岩手	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
山形	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宮城	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
福島	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
茨城	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
栃木	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
群馬	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
埼玉	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
千葉	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
東京	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
合計	九三,八四三	四九,五八一	六〇,六六三

内國稅徵收費各稅別		其 二	
稅務管理局名	取引所稅	兌換銀行	沖繩縣酒類出港稅
大藏	九三,八四三	四九,五八一	六〇,六六三
東京	三三,〇〇〇	一八,二二二	二〇,七〇〇
京都	四〇,〇〇〇	二六,一九八	二〇,〇〇〇
大阪	四〇,〇〇〇	二六,一九八	二〇,〇〇〇
神戶	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
長崎	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
新加	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宇都宮	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
名古屋	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
松本	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
金澤	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
秋田	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
青森	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
岩手	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
山形	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宮城	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
福島	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
茨城	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
栃木	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
群馬	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
埼玉	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
千葉	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
東京	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
合計	九三,八四三	四九,五八一	六〇,六六三

内國稅徵收費各稅別		其 三	
稅務管理局名	砂糖稅	酒類及酒類含酒精稅	鹽稅
大藏	九三,八四三	四九,五八一	六〇,六六三
東京	三三,〇〇〇	一八,二二二	二〇,七〇〇
京都	四〇,〇〇〇	二六,一九八	二〇,〇〇〇
大阪	四〇,〇〇〇	二六,一九八	二〇,〇〇〇
神戶	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
長崎	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
新加	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宇都宮	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
名古屋	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
松本	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
金澤	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
秋田	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
青森	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
岩手	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
山形	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宮城	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
福島	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
茨城	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
栃木	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
群馬	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
埼玉	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
千葉	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
東京	二六,三三三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
合計	九三,八四三	四九,五八一	六〇,六六三

稅務管理局名	三十四年度				取引所稅	兌換銀行	沖出港稅	砂糖消稅	舊稅道納	印紙收入	雜件合計	收入濟額	收入濟額百對入對合
	根	札	函	郡									
青森縣
秋田縣
金澤縣
廣島縣
松山縣
熊鷹
鹿島
那須
函根
札室
根計

一收入濟額中・印紙附シタルモノハ遞信省ノ取扱ニ係ル收入印紙收入濟額ヲ加算シタルモノニシテ之ニ件ヲ經費ハ遞信省ニ於テ負擔シ區分シ難キヲ以テ之ヲ欠ク

内國稅徵收費各稅別累年比較

其 一

年	地租	所得稅	營業稅	酒造稅	鹽稅	酒類及酒類含有飲料稅	麥酒稅	醬油稅	煙草稅	砂糖消稅	營業稅
二十七年
二十八年
二十九年
三十年
三十一年
三十二年
三十三年
三十四年

内國稅徵收費各稅別累年比較

其 二

年	菓子稅	礦業稅	船稅	車稅	牛馬賣買稅	許稅	米會所稅	取引所稅	兌換銀行	度量衡稅	國立銀行	證券印稅
二十七年
二十八年
二十九年
三十年
三十一年
三十二年
三十三年
三十四年

内國稅徵收費各稅別累年比較

其 三

年	紙料	登記印	印紙收入	北海道	水產稅	沖出港稅	沖出港稅	舊稅道納	雜件合計	收入濟額	收入濟額百對入對合
二十七年
二十八年
二十九年
三十年
三十一年
三十二年
三十三年
三十四年

内國稅徵收費各稅別

年 度	訴訟用 印紙料	登記印 紙料	印紙收入	北海道 地方税	北海道 水産税	沖繩縣酒 類出港税	沖繩縣 賭税	萬稅追納 雜 件	合 計	收入済額 収入済額
二十六年 度	六六〇三	一〇、四五四	—	—	—	—	—	—	一七、〇五七	二六、二〇〇
二十五年 度	九三八八	一八、八四〇	—	—	—	—	—	—	二八、七二八	二七、六八〇
二十四年 度	一〇、五九四	一九、〇五二	—	—	—	—	—	—	二九、六四六	二八、〇〇〇
三十三年 度比較増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第三章 内國稅務ニ關スル臨時部經費

三十五年度ニ於ケル臨時部經費ノ現豫算額ハ參拾萬參千百六拾五圓ニシテ支出額參拾萬參千百拾八圓ナレハ其殘額僅カニ四拾七圓ナリ右支出額中營繕費ノ款八萬八千參百九拾九圓ニシテ内新營繕費七萬九千八百六拾參圓ハ札幌東京、京都、大阪、長崎、名古屋、秋田、熊本、鹿兒島并ニ本省ニ修繕費七千八百拾貳圓ハ札幌、東京、大阪、宇都宮本省ニ七百貳拾四圓ハ札幌稅務管理局及札幌稅務署廳舍、倉庫新營繕費ニ要セシモノナリ其他ハ沖繩縣土地整理費ニシテ貳拾壹萬四千七百拾九圓ナリ即チ左表ノ如シ

款 項	現 豫 算 額		支 出 額		残 額
	現 豫 算 額	支 出 額	現 豫 算 額	支 出 額	
新 營 繕 費	七九、九〇七	七九、八六三	—	—	四
修 繕 費	七、八一三	七、八一三	—	—	—
札幌稅務管理局及札幌稅務署廳舍倉庫新營繕費	七、二四〇	七、二四〇	—	—	—
營 繕 費 合 計	八八、九六〇	八八、九一六	—	—	四
沖繩縣土地整理費	二九、一四一	二九、一四一	—	—	—
臨時部經費合 計	一一八、一〇一	一一八、〇五七	—	—	四
總 計	一一八、一〇一	一一八、〇五七	—	—	四

第四章 稅務監督局及稅務署職員

明治三十五年十月三十一日勅令第二百四十一號ヲ以テ稅務監督局官制ヲ制定シ各稅務監督局ヲ通シテ奏任局長拾八人奏任事務官專任五拾九人判任稅務屬專任四百人技手專任百人ヲ置キ明治三十五年十一月五日ヨリ施行セラレ稅務管理局官制及明治二十九年勅令第三百四十六號ハ本令施行ノ日ヨリ之レヲ廢止セラル同日更ニ勅令第二百四十二號ヲ以テ稅務署官制ヲ制定シ各稅務署ヲ通シテ奏任稅務官七拾五人判任稅務屬專任四千五百拾四人技手專任貳百人ヲ置キ明治三十五年十一月ヨリ之レヲ施行セラル

右官制ニ依ル三十六年四月一日現在ノ稅務監督局及稅務署職員ヲ擧ケレハ稅務監督局長拾八人ニシテ内一級俸參人三級俸七人四級俸壹人五級俸貳人六級俸貳人七級俸參人トス事務官五拾五人ニシテ一級俸貳人二級俸四人三級俸參人四級俸拾壹人五級俸六人六級俸壹人七級俸貳拾八人トス稅務官ハ七拾五人ニシテ二級俸參人參級俸六人四級俸貳拾貳人ナリ又判任官ハ稅務屬四千七百八拾貳人技手貳百貳拾四人合計五千六百人ニシテ前年ニ比較スルトキハ貳拾四人ノ増加ハ五拾壹人ニシテ前年ニ比シ八人ヲ増加セリ雇員ハ月給雇貳千九百九拾壹人日給雇百參拾六人合計貳千參百貳拾七人ニシテ前年ニ對比シ參百七人ヲ増加セシハ月給雇ニ貳百九拾七人日給雇ニ拾人ヲ増セシニ由ル以上通計七千五百參拾貳人ニシテ前年ニ對照スルトキハ本年ノ増加スルコト貳百九拾五人ナリトス即チ左表ノ如シ

稅務監督局及稅務署職員

其 一

三十六年四月一日現在

官 等	年 俸 及 月 俸	人 員	月 俸	年 俸	給 額
局長	一級 貳千五百圓	三人	—	—	—
一級	貳千圓	七人	—	—	—
二級	—	—	—	—	—
三級	—	—	—	—	—
事務官	—	—	—	—	—
判任官	—	—	—	—	—
技手	—	—	—	—	—
雇員	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—

稅務監督局及稅務署職員

二一五

稅務監督局及稅務署職員

二二六

比較 三十五年四月一日現在	判 任 官 合 計	官 任 列									
		手 技					屬 務 稅				
		同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二	同月十九八七六五四三二
△	計	拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六	拾拾拾拾拾拾拾貳貳參參四四五六
△	計	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五	參四五拾五
△	計	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓
△	計	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓

比較 三十五年四月一日現在	奏 任 官 合 計	官 任 奏									
		官 務 稅			官 務 事			長 局			
		七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二	七六五四三二
△	計	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級	級級級級級級
△	計	六七八九千	六七八九千	六七八九千	六七八九千	六七八九千	六七八九千	六七八九千	六七八九千	六七八九千	六七八九千
△	計	百百百百百	百百百百百	百百百百百	百百百百百	百百百百百	百百百百百	百百百百百	百百百百百	百百百百百	百百百百百
△	計	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓	圓圓圓圓圓圓

二二六

官等	年俸及月俸	人員	月俸	額	年俸	額
官	三十五年四月一日現在	51010		210,498		210,498
比	較	増	△減	307		51,942
總計	三十五年四月一日現在	7,553		1,495,544		1,794,856
比	較	増	△減	7,337		1,635,291
總計	三十六年四月一日現在	7,860		1,527,535		1,696,847

稅務監督局職員

其二

年次	責任官		判任官		見習員	屬員		合計
	人員	年俸	人員	年俸		人員	年俸	
三三	188	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
三二	184	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
三一	180	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
三〇	176	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二九	172	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二八	168	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二七	164	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二六	160	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二五	156	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二四	152	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二三	148	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二二	144	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二一	140	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
二〇	136	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一九	132	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一八	128	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一七	124	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一六	120	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一五	116	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一四	112	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一三	108	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一二	104	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一一	100	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
一〇	96	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇九	92	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇八	88	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇七	84	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇六	80	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇五	76	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇四	72	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇三	68	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇二	64	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553
〇一	60	1,359,900	5,006	1,335,307	5	7,744	2,303	7,553

第五章 稅務監督局名稱位置及管轄區域

明治三十五年十月三十一日勅令第二百四十一號ヲ以テ稅務監督局官制ヲ制定セラル其第九條稅務監督局ノ名稱位置及管轄區域ハ別表ニ依ル而シテ本令ハ明治三十五年十一月五日ヨリ之レヲ施行スル旨公布セラレタリ

(別表)

稅務監督局名稱位置及管轄區域表

名稱	位置	管轄區域
札幌稅務監督局	札幌	北海道
東京稅務監督局	東京	埼玉縣、千葉縣、山梨縣
京都稅務監督局	京都	滋賀縣、和歌山縣
大阪稅務監督局	大阪	奈良縣、靜岡縣
神戶稅務監督局	神戶	靜岡縣、岡崎縣
長崎稅務監督局	長崎	長崎縣、佐賀縣
長門稅務監督局	長門	長門縣、長門縣
宇都宮稅務監督局	宇都宮	群馬縣、栃木縣
名古屋稅務監督局	名古屋	群馬縣、栃木縣
仙臺稅務監督局	仙臺	秋田縣、岩手縣
秋田稅務監督局	秋田	秋田縣、岩手縣
金澤稅務監督局	金澤	石川縣、福井縣
松江稅務監督局	松江	島根縣、山口縣
廣島稅務監督局	廣島	廣島縣、山口縣
鹿兒島稅務監督局	鹿兒島	鹿兒島縣、宮崎縣
鹿兒島稅務監督局	鹿兒島	鹿兒島縣、宮崎縣

第六章 稅務署名稱及管轄區域

明治三十五年十月三十一日勅令第二百四十二號ヲ以テ稅務署官制ヲ制定セラル其第六條稅務署ノ名稱位置及管轄區域ハ別表ニ依ル而シテ本令ハ明治三十五年十一月五日ヨリ之レヲ施行スル旨公布セラレタリ

稅務監督局名稱位置及管轄區域 稅務署名稱及管轄區域

長		戸										脚		税務署名 官名 職名					
長		山					岡					脚							
島原	諫早	佐世保	長門	宇部	英田	藤田	山	久世	新見	高梁	津和野	笠岡	玉島	倉敷	味野	西大寺	瀬戸	岡山	税務署名
南島原郡	北島原郡	佐世保市 東彼杵郡	長門市 西彼杵郡	宇部市	英田郡	藤田郡	山形郡	久世郡	阿賀郡	上房郡 川上郡	吉備郡	小田郡 後月郡	鏡口郡	都窪郡	兒島郡	邑久郡 上道郡	和氣郡 赤磐郡	岡山市 御津郡	管轄区域

長										鴻										税務署名 官名 職名
長					鴻					鴻					鴻					
大町	豊科	松本	福島	飯田	伊那	上諏訪	上田	岩村田	白田	相川	村上	承魚川	高田	安曇	柏崎	十日町	六日町	小千谷	税務署名	
北安曇郡	南安曇郡	東筑摩郡	西筑摩郡	下伊那郡	上伊那郡	諏訪郡	小縣郡	北佐久郡	南佐久郡	佐渡郡	岩船郡	西筑摩郡	中筑摩郡	東筑摩郡	刈羽郡	中魚沼郡	南魚沼郡	北魚沼郡	管轄区域	

野										脚										税務署名 官名 職名																	
野					脚					脚					脚																						
島原	諫早	津川	三條	新津	新田	新田	高島	武蔵	伊萬	唐津	小城	高木	神前	佐賀	藤原	流生	平戸	古志郡	三島郡	東海郡	南海郡	四国郡	中津郡	北海郡	新海市	藤原郡	伊萬郡	西松浦郡	東松浦郡	小城郡	三養基郡	神前郡	佐賀市 佐賀郡	上縣郡 下縣郡	南松浦郡	北松浦郡	管轄区域

字										野										税務署名 官名 職名
字					野					野					野					
鉾田	松原	水田	菅谷	笠岡	水戸	太田	矢板	真岡	宇都宮	鹿沼	栃木	佐野	足利	飯山	長野	中野	須坂	尾代	鹽崎	税務署名
鹿島郡	多摩郡	久慈郡	那珂郡	西茨城郡	水戸市 東茨城郡	那須郡	豊谷郡	芳賀郡	宇都宮市 河内郡	上野郡	下野郡	安藤郡	足利郡	下水内郡	長野市 上水内郡	下高井郡	上高井郡	塩田郡	更級郡	管轄区域

税務署名及管轄区域

秋															名						
田										森					青				中	富	平
山形	花輪	湯淺	横手	大曲	本庄	置賜	鷹代	秋田	八戸	田名部	七戸	五所河原	黒石	弘前	鹿ヶ澤	青森	中村	富岡	平	鹿角郡	
山形市	鹿角郡	鹿角郡	平鹿郡	仙北郡	由利郡	北秋田郡	山本郡	秋田市	三戸郡	下北郡	上北郡	北津軽郡	南津軽郡	弘前市	西津軽郡	青森市	相馬郡	雙葉郡	石城郡	管轄区域	
山形市	南村山郡							河邊郡	南秋田郡					中津軽郡		東津軽郡					

税務署名所及管轄区域

秋															名				
山										石					川				飯
天童	寒河江	新庄	鶴岡	酒田	高畑	長井	米澤	大聖寺	小松	松任	金澤	津幡	羽咋	七尾	輪島	飯田	東村山郡		
東村山郡	西村山郡	北村山郡	最上郡	東田川郡	西田川郡	鶴岡郡	米澤市	江沼郡	鹿角郡	石川郡	金澤市	河北郡	羽咋郡	鹿島郡	鳳玉郡	球洲郡	管轄区域		
							南庄郡	南庄郡											

1110

秋															名						
田										森					青				中	富	平
山形	花輪	湯淺	横手	大曲	本庄	置賜	鷹代	秋田	八戸	田名部	七戸	五所河原	黒石	弘前	鹿ヶ澤	青森	中村	富岡	平	鹿角郡	
山形市	鹿角郡	鹿角郡	平鹿郡	仙北郡	由利郡	北秋田郡	山本郡	秋田市	三戸郡	下北郡	上北郡	北津軽郡	南津軽郡	弘前市	西津軽郡	青森市	相馬郡	雙葉郡	石城郡	管轄区域	
山形市	南村山郡							河邊郡	南秋田郡					中津軽郡		東津軽郡					

秋															名				
山										井					富				江
天童	寒河江	新庄	鶴岡	酒田	高畑	長井	米澤	大聖寺	小松	松任	金澤	津幡	羽咋	七尾	輪島	飯田	東村山郡		
東村山郡	西村山郡	北村山郡	最上郡	東田川郡	西田川郡	鶴岡郡	米澤市	江沼郡	鹿角郡	石川郡	金澤市	河北郡	羽咋郡	鹿島郡	鳳玉郡	球洲郡	管轄区域		
							南庄郡	南庄郡											

1111

廣		江										松		稅務署名	管轄區域																
廣		取					島					松																			
春日市	佐伯郡	安佐郡	山縣郡	高松市	廣島市	二日野郡	米子	西伯郡	倉吉	東伯郡	吉岡	氣高郡	福家	八幡郡	島取	島取市	岩美郡	野田	美濃郡	津和野	美濃郡	津田	那賀郡	川本	邑智郡	大佛	豐後安濃郡	掛合	豐後郡	今市	豐州郡

九		島										香		稅務署名	管轄區域																								
九		高					島					香																											
松山	松山市	溫東郡	伊豫郡	須崎郡	高岡郡	伊野	吾川郡	高知	高知市	土佐郡	後免	長岡郡	赤岡	香美郡	安藝	安藝郡	池田	三好郡	藤野	美馬郡	川島	阿波郡	麻植郡	撫養	板野郡	石井	名西郡	島和佐	海部郡	富田	那賀郡	長尾	大川郡	長尾	大川郡	土庄	小豆郡	豐音寺	三豐郡

九		島										香		稅務署名	管轄區域																									
九		口					山					香																												
高松	高松市	香川郡	木田郡	下關市	豐浦郡	阿武郡	大津郡	美濃郡	大田	美濃郡	船木	厚狹郡	山口	吉敷郡	三田尻	佐波郡	德山	都濃郡	室積	熊毛郡	岩國	玖珂郡	廣代	大島郡	庄原	比婆郡	三次	雙三郡	府中	廣品郡	神石郡	甲奴郡	尾道	尾道市	鞆郡	世羅郡	志保	豐田郡	西條	加茂郡

本		島										香		稅務署名	管轄區域																								
本		水					島					香																											
山口	天草郡	人吉	球磨郡	佐敷	葦北郡	八代	八代郡	御船	上野城郡	下志保郡	宮地	阿蘇郡	山鹿	鹿本郡	隈府	菊池郡	高橋	玉名郡	宇土	宇土郡	熊本	熊本市	熊託郡	宇和島	南宇和郡	北宇和郡	八幡濱	西宇和郡	大洲	喜多郡	久万町	上浮穴郡	川之江	宇摩郡	西條	新居郡	周島郡	今治	越智郡

稅務署名稱及管轄區域

本						
分			大			
森	竹田	三重	佐伯	白杵	大分	日出
玖珠郡	直入郡	大野郡	南海郡	北海郡	大分郡	遠見郡

島				
繩		沖		崎
八重山	宮古	國頭	那霸	高千穂
八重山郡	宮古郡	國頭郡	那霸區 首里區 島尻郡 中頭郡	延岡 東臼杵郡

島																	
西										福							
國東	五津	八尾	行橋	香春	小倉	三池	下關	大川	久留米	百香	前原	大野	甘木	萩	直方	新尾	東海
東國東郡	西國東郡	錦上郡	京郡	田川郡	小倉市 門司市 金谷郡	八女郡	三池郡	山門郡	三井郡	浮羽郡	杵島郡	筑紫郡	朝倉郡	嘉穂郡	鞍手郡	遠賀郡	宗像郡

島																		
宮										鹿								
高岡	小林	都城	新宮	宮崎	大島	種子島	鹿屋	岩川	加治木	大口	出水	隈ノ城	伊集院	知覽	鹿兒島	四日市	中津	豆田
高岡郡	西尾郡	北薩郡	南那珂郡	宮崎郡	大島郡	鹿毛郡	肝屬郡	嶺南郡	輪賀郡	伊佐郡	出水郡	薩摩郡	日置郡	採宿郡 川邊郡	鹿兒島市 鹿兒島郡	宇佐郡	下毛郡	日田郡

第十二款 法令要旨

第一章 法律

骨牌税法三十五年四月四日(官報四月五日)
法律第四十四號

骨牌ハ弊害ヲ生シ易キ奢侈品ナルヲ以テ之ニ課税シテ以テ國家財源ノ一ニ充ツルノ適當ナルヲ認メ本法ヲ制定シ三十五年七月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

第二章 勅令

國稅徵收法施行規則三十五年四月十日(官報四月十一日)
勅令第三百三十五號

明治三十五年三月法律第三十六號ヲ以テ國稅徵收法中改正セラレタルニ依リ國稅徵收法施行規則中改正ノ必要ヲ認メ全部之ヲ改正シ本令ハ右ノ法律第三十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行スル旨公布セラレタリ
間接國稅犯則者處分法施行規則中改正三十五年四月二十五日(官報四月二十六日)
勅令第四百四十五號

骨牌税法ノ制定ニ伴ヒ間接國稅犯則者處分法施行規則中ニ骨牌税ヲ追加スルノ必要アルニ由リ本法ヲ公布セラレタリ

輸入原料砂糖戻税法施行規則制定三十五年四月二十五日(官報四月二十六日)
勅令第四百四十六號

明治三十五年法律第三十三號ヲ以テ輸入原料砂糖戻税法制定公布セラレシニ伴ヒ同法施行上必要アルニ由リ本規則ヲ公布セラレタリ

骨牌税法施行規則三十五年五月二十二日(官報五月二十三日)
勅令第四百五十四號

骨牌税法ノ制定ニ伴ヒ同法施行規則ヲ設クルノ必要アルニ由リ本規則ヲ制定シ明治三十五年七月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

骨牌ニ貼用スヘキ印紙ニ關スル件三十五年五月二十二日(官報五月二十三日)
勅令第四百五十五號

骨牌税法ニ依リ骨牌ニ貼用スヘキ印紙ヲ特定スルノ必要アルニ由リ之ヲ公布セラレタリ
稅務管理局稅務署及管轄區域表中改正三十五年六月十四日(官報六月十六日)
勅令第百六十二號

札幌稅務管理局管内上川、増毛稅務署管轄區域不便ノ爲メ之ヲ北海道廳支廳ノ管轄區域ト同一ナラシメ長崎稅務管理局管内大村稅務署ノ位置是亦不便ナルヲ以テ之ヲ佐世保ニ移スノ必要アリシト廣島稅務管理局管内舟木稅務署ノ名稱ハ船木ナルヲ以テ之ヲ改メ下ノ關稅務署所在地赤間關市ヲ下ノ關市ト改稱セシヲ以テ稅務署名及管轄區域モ之ト同一ナラシムルノ必要アルヲ以テ明治二十九年勅令第百四十六號中之ヲ改正シ明治三十五年七月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

明治三十二年勅令第百八十三號中改正三十五年七月二十六日(官報七月二十八日)
勅令第百九十七號

神戸下ノ關間ニ於ケル山陽鐵道線ノ既ニ全通セル今日ニ於テハ之ヲ關稅法第三十五條ニ依ル通路ニ加フルノ必要アルヲ以テ之ヲ改正シ公布セラレタリ

輸入物品從量稅目改正三十五年九月二十九日(官報九月三十日)
勅令第百十九號

明治三十一年勅令第百二十號ヲ以テ定メラレタル輸入物品從量稅目ハ明治三十年ノ平均價格ニ依ルモノ一シテ其後價格騰貴セルモノ頗ル多ク該稅目算出當時ノ價格ト差違ヲ來シタルヲ以テ之ヲ改正シ而シテ本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

營業稅法施行規則中改正三十五年十月六日(官報十月七日)
勅令第百二十號

明治三十五年三月法律第十八號ヲ以テ營業稅法中一部改正セラレタルヲ以テ同施行規則ニ於テモ之ニ伴ヒタル改正ヲ爲スノ必要アルニ依リ本令ヲ發布シ明治三十六年一月一日ヨリ施行セラレタリ

稅關管轄區域中改正三十五年十月三十一日(官報十一月一日)
勅令第百三十九號

稅關官制改正ノ結果從前新潟稅關ノ管轄タリシ區域ヲ分割シ橫濱稅關管轄區域中、越後、羽前、佐渡、ヲ加ヘ十一箇國

ヲ十四箇國ニ大阪稅關管轄區域中ニ若狹、越前、加賀、能登、越中ヲ加ヘ八箇國ヲ十三箇國ニ函館稅關管轄區域中ニ羽後ヲ加ヘ十三箇國ヲ十四箇國ニ改メ明治三十五年十一月五日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

稅關支署ノ名稱位置及管轄區域表中改正三十五年十月三十一日(官報十一月一日)
勅令第百四十號

稅關官制改正ニ付新潟稅關ヲ廢止セラレタルニ依リ更ニ同所ニ稅關支署ヲ新置スルノ必要アルヲ以テ明治三十二年勅令第百六十九號中ヲ改正シ明治三十五年十一月五日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

稅務監督局官制三十五年十月三十一日(官報十一月一日)
勅令第百四十一號

稅務監督局官制ト共ニ稅務監督局ノ名稱、位置及管轄區域表ヲ定メラレ明治三十五年十一月五日ヨリ施行シラレ明治二十九年勅令第百四十六號ノ稅務管理局稅務署及其管轄區域ニ關スル件本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止スル旨公布セラレタリ

稅務署官制三十五年十月三十一日(官報十一月一日)
勅令第百四十二號

稅務署官制ト共ニ稅務署ノ名稱、位置及管轄區域ヲ定メ明治三十五年十一月五日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ
砂糖消費稅法施行規則中改正三十五年十月三十一日(官報十一月一日)
勅令第百五十二號

稅關官制中ニ改正ヲ加ヘ砂糖消費稅ニ關スル事務ヲ稅關ヲシテ掌ラシムコト、セラレタルヲ以テ砂糖消費稅法施行規則中改正ノ必要ヲ生シ本令ハ明治三十五年十一月五日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

地租條例施行規則、明治三十二年勅令第三百七十四號、酒造稅法施行規則、醬油稅則施行規則、自家用醬油稅法施行規則及間接國稅犯則者處分法施行規則中改正三十五年十月三十一日(官報十一月一日)
勅令第百五十三號

稅務署官制制定ニ伴ヒ各規則中稅務管理局長ヲ稅務署長ト改ムルノ必要ヲ生シ本令ハ明治三十五年十一月五日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

所得稅法施行規則中改正三十五年十月三十一日(官報十一月一日)
勅令第百五十四號

稅務監督局及稅務署官制制定ノ結果所得稅法施行規則中改正ノ必要アルニ依リ本令ヲ發布シ明治三十五年十一月五日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

間接國稅犯則者處分法ニ依リ稅務管理局長ノ行フヘキ職權ニ關スル件三十五年十月三十一日(官報十一月一日)勅令第二百五十五號

稅務署官制制定ニ伴ヒ間接國稅犯則者處分法上職權ノ移轉ヲ明ニスル爲メ稅務管理局長ノ行フヘキ職權ハ稅務署長之ヲ行フコト、セラレ明治三十五年十一月五日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

地租條例及國稅徵收法ヲ沖繩縣宮古郡、八重山郡ニ施行スルノ件三十五年十二月二十五日(官報十二月二十六日)勅令第二百七十五號

沖繩縣管内宮古、八重山兩郡土地整理事業ハ明治三十五年中ニ於テ完成スヘキヲ以テ明治三十六年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ同郡ニ施行スルノ必要アリ依テ沖繩縣土地整理法第二十三條ニ基キ本令ヲ公布セラレタリ

國稅徵收法ニ依ル公共團體指定ノ件中改正三十五年十二月二十五日(官報十二月二十六日)勅令第二百七十六號

沖繩縣下一地方ニ國稅徵收法ヲ施行セラル、ニ至リタルヲ以テ沖繩縣間切島規程ニ依ル間切島ヲ國稅徵收法第三十三條第三項ニ依リ公共團體ニ追加指定スルノ必要ヲ認メ之レヲ改正シ明治三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ノ旨公布セラレタリ

沖繩縣宮古郡、八重山郡地租納期ニ關スル件三十五年十二月二十五日(官報十二月二十六日)勅令第二百七十七號

沖繩縣宮古郡、八重山郡ハ交通不便其他ノ事情ニ依リ地租ノ納期ハ特別ニ之ヲ定ムルヲ相當トス依テ沖繩縣土地整理法第二十四條ニ基キ本令ヲ制定シ公布セラレタリ

開港及開港ニ於テ輸出スヘキ貨物ノ指定ニ關スル件三十六年一月二十一日(官報一月二十二日)勅令第四百號

室蘭港ハ曩ニ開港ニ指定セラレタルモ麥、石炭、硫黃其他大藏大臣ノ指定シタル物品ノ輸出ニ限り之ヲ爲スヲ得ヘキコトニ定メラレタリ然ルニ爾後指定外ノ物品ニシテ輸出ノ望ミアルモノ尠カラズ殊ニ貨物ノ輸入ヲ許サレサルヲ以テ貿易上不便ヲ免レサルヲ以テ其輸出品ニ付テハ總テ從前ノ制限ヲ解除シ而シテ本港ニ輸入スヘキ見込アル物

品ニシテ現在ノ設備上支障ナキモノニ限り輸入ヲ許サンカ爲メ改正ヲ要シ明治三十六年二月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

災害地租延納ニ關スル件三十六年二月二日(官報二月三日)勅令第八號

果實又ハ天候ノ不順ニ因リ廣濶ナル區域ノ收穫皆無トナリタル場合ニ於テ納稅ノ資力ナシト認ムル者ニ對シテハ期限ヲ與ヘテ地租ノ延納ヲ許可スルノ止ムヲ得サルモノアリ而シテ剩下災害ニ罹リテ法律上ノ救濟ヲ受クルト能ハサル青森縣下其他ノ地租納稅者ノ第三納期ニ際シテ應急ノ處置ヲ爲スノ必要アリテ本令ヲ發布シ即日施行セラレタリ
明治三十年勅令第九號中改正三十六年二月二十五日(官報二月二十六日)勅令第十八號

關稅制度ノ統一ヲ保ツカ爲メ臺灣ニ於ケル關稅ノ政務モ貨幣及銀行ニ於ケル政務ト共ニ大藏大臣ノ管理ニ屬スルハ緊要ノコトタルヲ以テ之ヲ改正セラレタリ

第三章 省令

骨牌印紙賣下賣捌規則三十五年六月四日(省令第十一號)

骨牌印紙ノ制定ニ伴ヒ其實下賣捌規則ヲ規定スルノ必要アルヲ以テ本令ヲ發セラレ而シテ明治三十五年七月一日ヨリ施行セラル

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル物品納ノ國稅現金ニ換算方三十五年六月五日(省令第十二號)

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律ノ規定ニ基キ物品納ノ國稅ヲ現金ニ換算シテ忘納額ヲ定ムル場合ニ適用スヘキ換算價格ヲ定メラレタリ

明治三十二年本省令第十四號中改正三十五年六月七日(省令第十三號)

長崎稅關管内肥前國呼子ニ稅關監視署ノ新置ヲ要スルニ依リ本令中改正セラレタリ

骨牌印紙ノ形式及貼用方法三十五年六月十日(省令第十四號)

骨牌印紙ノ制定ニ伴ヒ骨牌印紙ノ形式及貼用方法ヲ規定スルノ必要ニ依リ本令ヲ發シ明治三十五年七月一日ヨリ施行セラル

稅務支署位置及管轄區域表改正三十五年六月十七日
本省令第十五號

廣島稅務管理廳管内赤間ヶ關市ヲ下ノ關市ト改稱セシヲ以テ稅務支署名及管轄區域ヲ改ムルノ必要アリテ之ヲ改正ス
明治三十五年七月一日ヨリ施行セラル

關稅徵收法施行細則附屬書式改正三十五年六月二十一日
本省令第十六號

明治三十年本省令第十號國稅徵收法施行細則中督促手数料ハ從來辨償金ノ科目ニ屬セリ然ルニ國稅徵收法中改正ニ伴ヒ之ヲ手数料ノ科目ニ屬セシムルヲ至當ト認メ同附屬書式中項目ノ部分ヲ改正セラレタリ

稅關臨時應貨物積卸其他特許手数料額改正ノ件三十五年七月十一日
本省令第十七號

關稅法及同施行規則ノ規定ニ依リ稅關ヘ納付スヘキ各手数料額ハ明治三十二年ノ規定ニシテ時宜ニ適セサルモノアルカ爲メ之ヲ改正スルヲ以テ明治三十二年本省令第三十四號ヲ改正シ明治三十五年八月一日ヨリ施行セラル

明治三十二年本省令第十七號書式中削除三十五年七月十二日
本省令第十八號

所得稅法施行規則第三十六條ニ依ル納稅方ニ關スル書式中所得稅額ノ仕拂期別掲記ノ必要ナキニ依リ之ヲ削除セラ

明治三十年本省令第十號國稅徵收法施行細則附屬書式中追加三十五年七月十九日
本省令第十九號

市町村便宜ニ依リ出納區域ニアラサル金庫ヲ納額通知書ニ於テ指定シタル場合ニハ稅務署ヨリ之ヲ其金庫ニ通知スルノ必要ヲ認メ又稅官吏カ稅金又ハ督促手数料ヲ納付書ニ依リ領收スル場合ニハ之ニ接續スル領收證ヲ交付シテ正規ノ現金領收證ニ代フルヲ便宜ト認メ附屬書式備考中ニ其旨追加セラレタリ

骨牌印紙ノ形式及貼用方法ニ關スル省令中追加三十五年八月二十六日
本省令第二十號

骨牌印紙中ニ十錢二十錢ノ二種ヲ增加シタルニ依リ明治三十五年本省令第十四號ニ之ヲ追加セラレタリ

骨牌印紙賣下賣捌規則改正三十五年八月三十日
本省令第二十一號

骨牌印紙賣捌人間競争ノ弊アルニ依リ其賣捌區域ヲ規定スルノ必要アルニ依リ該規則中改正セラレタリ

明治三十二年本省令第十四號改正三十五年十月十六日
本省令第二十二號

伊豆國大島ハ外國貿易船ノ各國ニ往來スル船路ノ要衝ニシテ同島附近ニ於テ該船ノ屢々座礁難破スルコトアリ隨テ取締上同島新島ニ稅關監視署ノ設置ヲ要スルニ依リ本令中ヲ改正セラレタリ

印紙賣下賣捌規則施行細則改正三十五年十月十六日
本省令第二十三號

明治三十五年勅令第二百五號ヲ以テ同二十三年勅令第四號出納官吏身元保證金ニ關スル件廢セラレタルニ依リ明治二十三年本省令第三十四號印紙類賣下賣捌規則施行細則ニ改正ヲ加フルノ必要アルニヨリ之ヲ發布セラレタリ

稅務官吏證書樣式改正三十五年十一月一日
本省令第二十五號

稅務監督局及稅務署官制ノ制定ニ伴ヒ稅務官吏證書樣式中其名稱ヲ改定シ之ヲ明治三十五年十一月五日ヨリ施行セラレタリ

明治三十年本省令第十號國稅徵收法施行細則中改正三十五年十一月四日
本省令第二十六號

稅務管理廳廢止セラレ新官制ノ制定ニ伴ヒ國稅徵收事務ヲ處理スルモノ異ナルニ至レルニヨリ之ニ關スル規定ヲ改正セラレタリ

明治三十五年本省令第三十四號同三十年本省令第十九號同三十一年本省令第十八號同三十二年本省令第五號同年本省令第九號同三十五年本省令第十一號中改正三十五年十一月六日
本省令第二十八號

明治三十五年勅令第二百四十一號稅務監督局官制及同年勅令第二百四十二號稅務署官制制定ニ伴ヒ改正ノ必要アル

由牙醫傳世ヲシタリ

明治三十年本省令第二號中改正三十五年十一月六日
本省令第二十九號

同上ノ理由ニ依リ明治三十年本省令第二號本文中稅務管理局長ヲ稅務署ニ改メ檢査章ノ機式ヲ改正セラル

明治三十二年本省令第十三號中改正三十五年十一月二十二日
本省令第三十一號

稅務監督局稅務署官制制定ノ結果稅務署管轄區域ノ變更ニ伴ヒ所得稅法施行規則第五條ノ調査委員ノ定數ヲ改正セラレタリ

明治三十三年本省令第十七號中改正三十五年十一月二十六日
本省令第三十二號

稅務監督局稅務署官制ノ制定ニ伴ヒ明治三十三年本省令第三十六號(第二種所得稅ノ過誤納下戻請求方)同二十五年正セラレタリ

明治三十三年本省令第三十六號同三十五年本省令第十號中改正三十五年十二月十二日
本省令第三十三號

稅務監督局稅務署官制ノ制定ニ伴ヒ明治三十三年本省令第三十六號(第二種所得稅ノ過誤納下戻請求方)同二十五年本省令第十號(不動産登記ノ囑託ニ付官吏指定)中改正セラレタリ

明治三十四年本省令第十九號廢止三十五年十二月二十六日
本省令第三十四號

機械稅關鐵橋修繕工事ハ三十五年八月會計規則第六十九條ノ二追加ノ結果取締上ノ便宜ヲ得タルト一ハ同修繕工事ハ右防船械設置ノ工事ノ如ク競争者ノ資格ヲ限定スルノ必要ナキヲ以テ之ヲ廢止セラレタリ

明治三十二年本省令第十四號中改正三十六年一月二十一日
本省令第一號

近來韓國トノ交通益々頻繁ニシテ隱岐島住民ノ如キ主トシテ漁業ニ從事シ韓國ニ出稼スル者尠ナカラサルカ故同島浦津ニ稅關監視署ヲ設置スルノ必要アルヲ以テ本令中ヲ改正セラレタリ

明治三十二年本省令第五號中追加三十六年二月十二日
本省令第五號

印紙稅法第六條ニ依リ證書ニ稅印ノ捺捺ヲ請求スルモノ、爲明治三十二年本省令第五號中追加シ明治三十六年三月

明治三十二年本省令第四號中改正三十六年三月十七日
本省令第四號

日本國領海ニ從來外國貿易船隻ノ爲メ警備スルモノ少ナカラス又遠江國掛塚ハ天龍川ノ河口ニ在リテ船舶ノ出入頗多然風外國ニ從來スル船舶ノ船主モ茲ニ在リ共ニ關稅取締上稅關監視署ノ新置ヲ要スルヲ以テ本令中ヲ改正セ

明治三十五年四月五日

明治三十五年四月五日

明治三十五年度歳入科目表歳入經常部第一款稅稅中ニ第十四項舊稅追納第一目北海道水產稅第二目地租割第三目戶數割第四目營業稅第五目雜稅ノ項目ヲ追加セラレタルハ前年度ヨリ繰越シテモナルニ由ル

明治三十五年四月五日

明治三十五年度歳入科目表歳入經常部第三款官業及官有財產收入第四項官有物貨下料中第六目物品使用料ノ目ヲ追加セラレタルハ開港港則ニ依リ存續使用料ノ收入アリシニ由ル

明治三十五年四月十七日

國稅徵收事務取扱上諸帳簿及報告書調製方中改正三十五年四月十七日
本省令第十八號

明治三十五年四月二十五日

明治三十五年度歳入科目表歳入經常部第一款稅稅第十四項舊稅追納中ニ第六目混成酒稅ノ目ヲ追加セラレタルハ前年度ヨリ繰越シタルニ由ル

明治三十五年五月五日

明治三十五年度歳入科目表歳入經常部第三款官業及官有財産收入第四項官有物貨下料中ニ第三目物品貨下料ノ目ヲ追加セラレタルハ國庫費ヲ以テ購入シタル物品貨下料ノ收入アルニ由ル

明治三十五年五月九日 本省訓令第三十四號

明治三十五年度歳入科目表歳入臨時部中ニ第七款賦納金第六項軍資賦納金第一目軍資賦納金ノ款項目ヲ追加セラレタルハ軍資賦納金ノ收入アルニ由ル

内國稅徵收費支給方中改正 三十五年五月十日 本省訓令第三十六號

内國稅徵收費支給ニ係ル土地及間稅檢査日額旅費支給額ハ一般宿泊料ノ騰貴シタル爲メ實費ヲ償フニ足ラズ依テ支給額ヲ昂メ明治三十二年本省訓令第二號中改正セラレタリ

明治三十五年度歳入科目表中追加 三十五年五月三十日 本省訓令第三十八號

明治三十五年度歳入科目表歳入經常部第一款租稅第十項兌換銀行券發行稅中ニ第二目兌換銀行券制限外發行稅ノ目ヲ追加セラレタルハ明治十七年布告第十八號兌換銀行券條例ニヨリ制限外發行稅ヲ收入スルモノアルニ由ル

租稅不關スル現況報告表様式中追加 三十五年六月九日 本省訓令第三十九號

國稅ニ關ル諸帳簿様式中追加 三十五年六月九日 本省訓令第三十九號

骨牌稅法實施ニ付明治三十二年本省訓令第四十五號國稅ニ關スル諸帳簿様式中骨牌稅ニ關スル臺帳設置ノ必要アルニ依テ追加セラレタリ

明治三十五年度歳入科目表中追加 三十五年六月九日 本省訓令第三十九號

明治三十五年度歳入科目表歳入臨時部第二款印紙收入第一項印紙收入中ニ第三目骨牌印紙收入ノ目ヲ追加セラレタルハ明治三十五年法律第四十四號骨牌稅法ニ依リ骨牌印紙賣下代ノ收入アルニ由ル

明治三十五年七月五日 本省訓令第三十六號

明治三十五年度歳入科目表歳入經常部第四款雜收入第一項免許及手数料中ニ第一目免許料ノ目ヲ追加セラレタルハ明治三十五年法律第四十四號骨牌稅法ニ依リ骨牌製造免許料ノ收入アルニ由ル

内國稅徵收費科目中追加 三十五年九月十五日 本省訓令第三十七號

明治三十四年法律第二十七號ニ據リ水害地方稅租地整理ノ爲メ經費ノ支出ヲ要スルニ由リ追加セラレタリ

明治三十五年度歳入科目表中追加 三十五年十月二十二日 本省訓令第三十九號

明治三十五年度歳入科目表歳入臨時部第三款雜收入中ニ第六項利子收入第二目利子收入ノ項目ヲ追加セラレタルハ明治三十七年法律第十六號ニ依リ日本銀行ハ預ケ入金ニ對シ利子ノ收入アルニ由ル

明治三十五年十月三十一日 本省訓令第四十號

明治三十五年度歳入科目表歳入經常部第四款雜收入第五項雜收入中ニ第十一目學校生徒授業料ノ目ヲ追加セラレタルハ前年度ニ係リ越シタルモノアルニ由ル

稅務監督局官制發布ニ付經費取扱方 三十五年十一月一日 本省訓令第四十一號

稅務監督局官制發布セラレタルニ依リ稅務管理局ヘ配賦ノ經費整理ノ必要アリ依テ其取扱方ヲ訓令セラレタリ

内國稅徵收費科目中追加 三十五年十一月五日 本省訓令第四十二號

稅務監督局及稅務署官制發布セラレタル爲メ新任高等官俸給ノ支出ヲ要スルモノアリ依テ明治三十三年本省訓令第三號中列之無遺追加セラレタリ

稅務及稅務管理局收入官吏配置方中改正 三十五年十一月五日 本省訓令第四十三號

稅務監督局及稅務署官制ノ制定ニ伴ヒ同職ノ注任及分任收入官吏配置方規定ノ必要ヲ認メ明治三十三年本省訓令第三號中列之無遺追加セラレタリ

市町村制未施行地ノ國稅徵收事務取扱方中改正三十五年十一月五日
本省訓令第四十四號

明治三十年本省訓令第三十九號市町村制未施行地ノ國稅徵收事務取扱方第五條ノ規定ハ其必要ナキニ至レハ以テ

之ヲ削除スルベシ

國稅徵收事務取扱方中改正三十五年十一月五日
本省訓令第四十五號

稅務署長ヨリ提出スル徵收猶豫處分成續報告書ハ稅務監督局ヲ經由スルノ必要ヲ認メ且差押財產ヲ再公賣ニ對シ

若クハ政府ニ買上ケントスル場合ニ於ケル京議ノ手續ハ之ヲ省略スルノ便宜ナルヲ認メ明治三十年本省訓令第四十

號中改正セラレタリ

國稅徵收事務取扱方中改正三十五年十一月五日
本省訓令第四十六號

稅務監督局及稅務署ヨリ提出スル徵收報告書ノ取扱方ニ關シ之ニ變更増補ヲ要スルモノアリ明治三十三年本省訓

令第二十七號徵收取扱規程中改正セラレタリ

國稅徵收事務取扱上諸帳簿及報告書調製方中改正三十五年十一月五日
本省訓令第四十七號

附長ヨリ徵收官ニ提出スル收入簿報告書徵收報告書等ノ取扱方ニ關スル規定ノ變更ヲ要スルモノアリ明治

三十二年本省訓令第十一號中改正セラレタリ

稅務監督局及稅務署收入官吏配置方中改正三十五年十一月五日
本省訓令第四十八號

稅關、稅務監督局及稅務署官制ノ制定ニ伴ヒ主任及分任收入官吏配置方規定ノ必要ヲ認メ明治三十三年本省訓令第

四十六號中改正セラレタリ

稅務施行上稅務管理局ハ關連示シタル事項ハ總テ稅務署ヲ兼用ノ件三十五年十一月六日
本省訓令第四十九號

稅務署官制制定ニ伴ヒ本訓令ノ必要アリテ之ヲ發セラレタリ

稅關、稅務倉庫ヨリ引取ノ輸入砂糖、骨牌ノ數量等報告方三十五年十一月六日
本省訓令第五十號

稅關官制ノ改正ニ依リ輸入ノ砂糖及骨牌稅ニ關スル事務ハ稅關ニ於テ之ヲ掌理スルコトナリタルカ爲メ稅關ヲシ

テ其數量等ヲ報告セシムルノ必要アルニ依リ訓令セラレタリ

內國稅徵收費支辨旅費支給方中改正三十五年十二月十九日
本省訓令第五十三號

稅務監督局事務官及稅務官其監督上層到リ期セシムル爲メ出張日數ヲ增加スルノ目的ヲ以テ支給額ノ低下ヲ要シ明

治三十二年本省訓令第二號中改正セラレタリ

稅關及稅務管理局收入官吏配置方中改正三十五年十二月二十五日
本省訓令第五十四號

稅關長及ハ稅務監督局長ヲシテ每季十二月末日現在ノ收入官吏ヲ翌年一月三十一日限リ報告セシムル爲メ明治三十

三年本省訓令第十六號中改正セラレタリ

明治三十一年訓令第七十二號同三十二年訓令第三十二號中改正三十六年一月十九日
本省訓令第五十五號

稅務監督局稅務官制ノ制定ニ伴ヒ明治三十一年本省訓令第七十二號「森林法ニ依リ開墾許可ノモノニシテ地租條

例ノ附屬又ハ地目變換ニ該當ノモノアルトキ通知方」同三十二年本省訓令第三十二號「地租條例第十一條ニ依リ免

稅地ヲ有租地ト爲スヲ許可セルトキ通知方」中改正セラレタリ

砂糖消費稅擔保物、査定量帳、砂糖稅査定書及骨牌帳簿記載方三十六年三月二日
本省訓令第五十六號

稅關官制中砂糖消費稅及骨牌ノ課稅ニ關スル事項ヲ加ヘラレタルタメ稅關ヲシテ一定ノ帳簿等ヲ設ケシムルノ必要

アルニ依リ訓令セラレタリ

內國稅徵收費支辨旅費支給方中改正三十六年三月二十五日
本省訓令第五十七號

稅務監督局事務官及稅務官ノ間稅檢査監督巡廻ニ付キ明治三十二年本省訓令第二號內國稅徵收費支辨旅費支給方第

一項ヲ改正シ明治三十六年四月一日ヨリ施行セラレタリ

第五章 告示

内外貨幣比較表 三十五年六月二日
本省告示第三十二號

明治三十五年七月一日ヨリ九月三十日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣ノ比較表ヲ告示セラレタ

骨牌印紙賣捌許可 三十五年七月二十二日
本省告示第四十五號

骨牌印紙賣下賣捌規則第二條ニ依リ賣捌人ノ住所氏名又ハ骨牌ノ名稱及賣捌場所ヲ公示スルノ必要アルニ由リ之ヲ告示セラレタリ

同上 三十五年八月十二日
本省告示第五十二號

理由同上

内外貨幣比較表 三十五年十二月一日
本省告示第五十二號

明治三十五年十月一日ヨリ十二月三十一日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣ノ比較表ヲ告示セラ

レタリ

税關假置場地區推定中改正 三十五年九月十日
本省告示第五十五號

長崎税關海運碼頭ニ建設セル建築物ヲ税關假置場ニ充用シ貨物搬置上ノ便利ヲ圖ラシカ爲メ明治三十三年本省告示

第十六號中改正セラレタリ

内外貨幣比較表 三十五年十二月一日
本省告示第七十一號

明治三十六年一月一日ヨリ三月三十一日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣ノ比較表ヲ告示セラレ

レタリ

骨牌印紙賣捌許可 三十六年二月十九日
本省告示第十號

理由前記告示第四十五號ニ同シ

骨牌印紙賣捌許可 三十六年三月二日
本省告示第十二號

明治三十六年四月一日ヨリ同六月三十日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣ノ比較表ヲ告示セラレ

タリ

第十三款 稅關事項

第一章 外國貿易船不開港出入特許

三十五年中ニ於テ開港外ノ諸港ニ船舶ノ出入特許ヲ申請セシモノヲ舉クレハ貳拾六艘ニシテ内國船拾四艘外國船拾貳艘ナリ今之ヲ前年ニ比較スルトキハ内國船六艘外國船四拾壹艘合計四拾七艘ヲ減セリ而シテ本年ニ於ケル特許港名ヲ列舉セハ横須賀、浦賀、舞鶴、吳、佐世保ノ五港トス即チ左表ノ如シ

稅關名	區別		橫須賀	浦賀	熱田	舞鶴	直江津	吳	佐世保	鹿兒島	因ノ島	若津	合計
	外國船	内國船											
大阪	計	計											
長崎	計	計											
函館	計	計											
合計	計	計											

外國貿易船不開港出入特許

(△印ハ失禮)

三十五年

外國貿易船不開港出入特許

年	區別		長崎	神戶	大阪	合計
	私設	官設				
三十五年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
三十四年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
比較増△減	0	0	0	0	0	0
三十五年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
三十四年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
比較増△減	0	0	0	0	0	0
三十五年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
三十四年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
比較増△減	0	0	0	0	0	0
三十五年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
三十四年	六八二四	三三九一	一〇三三三	七八、七六七	一〇、五五五	一〇、〇九三
比較増△減	0	0	0	0	0	0

新潟税關分ハ横濱税關へ合算ス

第三章 保税倉庫貨物出入

三十五年中保税倉庫ニ於ケル貨物出入ノ景況ヲ觀ルニ入庫貨物ノ價額ニ在テハ官設ニ貳拾七萬七千七百九拾參圓私設ニ參百七拾七萬九千九百五拾壹圓合計四百五萬七千七百四拾四圓ナリ今之レヲ前年ニ對照シ官設ニ於テハ八萬七千七百參拾六圓ノ減差ヲ呈セシハ長崎、函館ノ二關ニ於テ増加スト雖横濱、神戸ノ二關ニ於ケル減差ノ多キ爲メ差引右ノ減少ヲ觀ルモノトス私設ニ於テハ貳百九拾萬七千貳百拾六圓ノ増加ヲ呈ス之レ函館ハ皆無ナルモ他ノ三關孰レモ増加ナラサルハナク就中神戸ニ於ケル増加ノ著シキニ由ルナリ而シテ合計ニ於テハ差引貳百八拾壹萬九千四百八拾圓ノ増加ナリトス

出庫貨物ノ價額ニ在リテハ官設ニ百拾五萬九千四百九拾八圓私設ニ七百九拾九萬七千六百七拾圓合計九百拾五萬七千六百六拾八圓ナリ之レヲ前年ニ比較シ官設ニ五拾萬八千八百參拾貳圓ノ減差アルハ大阪、函館ニ増加アリタルニモ拘ハラズ横濱、神戸、長崎ノ三關ニ於ケル減少ノ多キニ由ル私設ニ六百五萬貳千五百四圓ノ増差ヲ呈セシハ各關孰レモ増加セサルハナク就中横濱税關ニ於ケルモノ多キニ由ル而シテ官私設ノ合計ニ於テハ差引五百五拾四萬參千六百七拾貳圓ノ増加ナリトス

又三十五年末ノ現在價格ハ各關通シテ官設ニ貳拾七萬七千七百九拾參圓私設ニ參百七拾七萬九千九百五拾壹圓合計四百五萬七千七百四拾四圓ナリトス之レヲ前年ニ對照シ官設ニ八萬七千七百參拾六圓ヲ減セシハ長崎、函館ニ僅カニ増加アリタルモ横濱、神戸ニ於ケル減少ノ多キニ由ル私設ニ貳百九拾萬七千貳百拾六圓ノ増差ヲ顯ハセシハ各關孰レモ増加ヲ呈セシニ由ル官私設ノ合計ニ於テハ差引貳百八拾壹萬九千四百八拾圓ノ増加ナリトス

又貨物ニ對シ預リ證券ノ發行數ハ官設ニ在テハ横濱ハ五百六拾五枚神戸ハ八百枚、大阪ハ六拾枚、長崎ハ參百七拾壹枚、函館ハ參拾四枚總計千八拾四枚ナリ私設ニ在テハ横濱、長崎ハ未詳ナルモ神戸ハ九百七拾八枚大阪ハ參百拾壹枚、函館ハ皆無ニシテ神戸大阪分計千貳百九拾四枚官私合セテ貳千參百七拾八枚ナリ之ヲ前年ニ比スレハ官設ニ千四百五拾四枚ヲ減シ私設ニ七百六拾八枚ヲ増シ差引總計ニ六百八拾六枚ノ減差ナリトス即チ左表ノ如シ

保税倉庫貨物出入

(△印ハ朱書)

其 一

税關名	區別	入庫貨物價額		出庫貨物價額		合計	
		三十五年	三十四年	三十五年	三十四年	三十五年	三十四年
横濱	官設	六五、五六一七	一〇、四三三三	七、九七五	一、一三五九	一、〇、〇五五	二、一五九六
	私設	五、七、七、四〇一	九、二、九、三八	四、九、八〇、九四七	三、六、一、三、四八	〇、七、六、八、〇	一、一、二、八、七、六
神戸	官設	二、九、九、〇、六	六、〇、一、六、三	四、四、一、八	五、三、六、五九	七、四、〇、八七	一、一、三、八、三三
	私設	三、六、九、七、七	一、一、八、一、八	一、九、九、三、三	一、一、八、三、八一	五、六、〇、〇、三三	二、七、五、五、五三
大阪	官設	三、六、九、七、七	一、一、八、一、八	一、九、九、三、三	一、一、八、三、八一	五、六、〇、〇、三三	二、七、五、五、五三
	私設	三、六、九、七、七	一、一、八、一、八	一、九、九、三、三	一、一、八、三、八一	五、六、〇、〇、三三	二、七、五、五、五三
合計		一、一、三、〇、七、七	二、五、〇、二、七	一、三、七、一、三	一、一、三、〇、七、七	二、五、〇、二、七	一、三、七、一、三

保税倉庫貨物出入

二五七

税關名	區別	入庫貨物價額		出庫貨物價額		合
		三十五年	三十四年	三十五年	三十四年	
長崎	官設	三三三,九一八	四八二,七五四	三二四,〇三五	四七四,〇七二	六四六,九四三
長崎	私設	二四〇,三三六	二四〇,三三六	一五二,二四五	一五二,二四五	三九二,四八二
函館	官設	五七三,一五四	九〇,四〇〇	四六六,二七〇	四七四,〇七二	九五六,八二七
函館	私設	二八,四一九	二二,〇七〇	二六,五五〇	二二,〇七二	一〇,六五六
總計	官設	一,〇七二,八八七	一,五七二,五八一	一,一五九,四九八	一,六六八,三三〇	三,二四〇,九一〇
總計	私設	一,〇九〇,九九三	二,一〇七,七三三	七九九,七六〇	一,九四五,一六六	四,〇五二,九三九
三十四年		三,六八〇,三五八	三,六八〇,三五八	三,六八〇,三五八	三,六八〇,三五八	七,二九三,八五〇
三十五年		三,九五二,三五八	三,九五二,三五八	三,九五二,三五八	三,九五二,三五八	六,八八六,三三〇
三十四年		一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	三,九三〇,九二九
三十五年		一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	三,九三〇,九二九
三十四年		八九七,二四一	八九七,二四一	八九七,二四一	八九七,二四一	一,七九四,四八二
三十五年		七五九,〇一三	七五九,〇一三	七五九,〇一三	七五九,〇一三	一,五一八,〇二六
比較増減						
三十四年		三,六八〇,三五八	三,六八〇,三五八	三,六八〇,三五八	三,六八〇,三五八	七,二九三,八五〇
三十五年		三,九五二,三五八	三,九五二,三五八	三,九五二,三五八	三,九五二,三五八	六,八八六,三三〇
比較増減						
三十四年		一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	三,九三〇,九二九
三十五年		一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	一,九七九,六九三	三,九三〇,九二九
比較増減						
三十四年		八九七,二四一	八九七,二四一	八九七,二四一	八九七,二四一	一,七九四,四八二
三十五年		七五九,〇一三	七五九,〇一三	七五九,〇一三	七五九,〇一三	一,五一八,〇二六
比較増減						

保税倉庫貨物出入

(△印ハ赤字)

其二

税關名	區別	年 末 現 在 價 額		預 證 券 發 行 額	比 較 増 減
		三十五年	三十四年		
神戶	官設	二二,一七三	三五,四四六	一四,二七三	△
神戶	私設	一,九三二,四八〇	二四九,一四九	一,六八三,三三一	△
神戶	計	一,九四四,六五三	二八四,五九五	一,六六九,〇五七	△
横濱	官設	一四八,八一七	二四二,九一四	九四,〇九七	△
横濱	私設	一四三,〇〇九	六二五,五八六	四八二,四七七	△
横濱	計	一五七,八二六	八六八,五〇〇	七一〇,六八三	△
三十五年		二,一〇二,四七九	三,五五三,一六〇	一,四五〇,六八一	△
三十四年		一,九四六,八五三	三,一八四,六五五	一,二三七,八〇二	△
比較増減					
三十五年		二,一〇二,四七九	三,五五三,一六〇	一,四五〇,六八一	△
三十四年		一,九四六,八五三	三,一八四,六五五	一,二三七,八〇二	△
比較増減					

大 阪	區別	年 末 現 在 價 額		預 證 券 發 行 額	比 較 増 減
		三十五年	三十四年		
官設	三三三,八四一	三三三,八四一	三三三,八四一	三三三,八四一	△
私設	三三三,八四一	三三三,八四一	三三三,八四一	三三三,八四一	△
計	六六七,六八二	六六七,六八二	六六七,六八二	六六七,六八二	△
長崎	官設	一〇五,八九三	八七,一七二	一八,七二一	△
長崎	私設	八七,九九一	八七,九九一	八七,九九一	△
長崎	計	一九三,八八四	一七五,一六三	一八,七二一	△
函館	官設	一九二	一九二	一九二	△
函館	私設	一九二	一九二	一九二	△
函館	計	一九二	一九二	一九二	△
總計	官設	二七,七九三	三六,五二九	八,七三六	△
總計	私設	三三,七九一	八七,七三五	五三,九四四	△
總計	計	六一,五八四	一二四,二六四	六二,六八〇	△
三十四年		一,一三三,二六四	一,一三三,二六四	一,一三三,二六四	△
三十五年		九三三,九三〇	九三三,九三〇	九三三,九三〇	△
比較増減					
三十四年		一,一三三,二六四	一,一三三,二六四	一,一三三,二六四	△
三十五年		九三三,九三〇	九三三,九三〇	九三三,九三〇	△
比較増減					

一、三十二年以前ハ報告ナキヲ以テ之ヲ缺ク

第四章 關稅定率法第六條ニ依ル輸入品價格

三十五年中ニ於テ關稅定率法第六條ニ依リ一時輸入シタル物品ノ價額ヲ擧ケレハ修繕ノ爲メ輸入シタルモノ拾貳萬八千五百六拾五圓試驗品トシテ輸入シタルモノ拾五萬九千四拾八圓見本品トシテ輸入シタルモノ參萬參千七百貳拾四圓興行用トシテ輸入シタルモノ參千九百四拾九圓ニシテ各種通シテ參拾貳萬五千貳百八拾六圓ナリ其内輸入ノ最モ多キヲ横濱ノ貳拾六萬九千七百七拾參圓トス次ニ神戸ハ四萬八千六百四拾八圓長崎ハ四千參百九拾四圓大阪ハ貳千七百七拾七圓函館ハ貳百九拾四圓ニシテ即チ左表ノ如シ

關稅定率法第六條輸入品價額

三十五年

税關名	修繕	試験品	見本	興行	用合	計
神戶	119,050	119,648	30,195	280	169,173	
大阪	31,000	38,406	3,499	3,669	48,674	
長崎	1,783	994			2,777	
函館	4,334				4,334	
計	128,565	159,058	33,723	3,919	225,265	

第五章 加工ノ爲メ輸入シタル物品價額

三十五年中ニ於テ三十三年法律第八十五號ニ依リ加工ノ爲メ輸入シタル物品ノ價額ヲ舉クレハ八萬八千八百貳拾七圓ニシテ内輸入ノ最モ多キハ横濱税關ノ八萬七千八百五圓ニシテ神戶ノ七百四拾參圓長崎ノ百八拾圓函館ノ九拾九圓トス即チ左表ノ如シ

税關名	價額
神戶	87,805
大阪	7,433
長崎	1,800
函館	994
計	88,827

第六章 小包郵便物輸入件數及價額

三十五年中ニ於ケル小包郵便物ノ税關并支署ニ輸入セルモノ壹萬六百八拾五件ニシテ此價額貳拾八萬八千貳百參拾四圓ナリトス今之ヲ各關ニ就テ觀ルトキハ其最モ多キハ横濱税關ノ八千五百拾貳件ニシテ價額貳拾四萬七千貳百貳拾五圓トス之ニ次ク神戶ノ九百四拾七件價格貳萬九千九拾九圓トシテ長崎ノ七百八拾九件價額七千四百七拾壹圓門司支署ノ四百參拾七件價額四千參百參拾九圓トス即チ左表ノ如シ

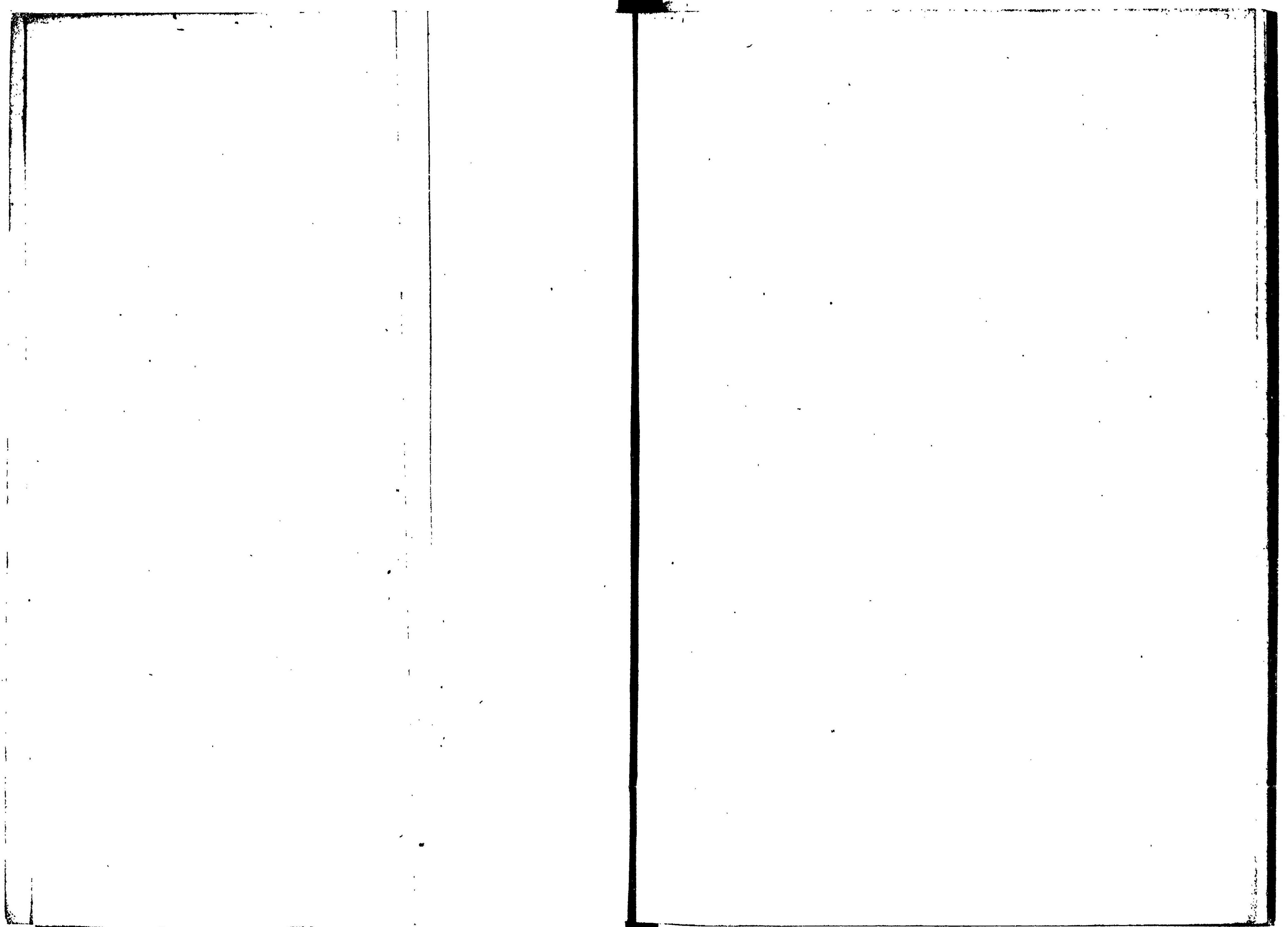
税關及支署名	件數	價額
神戶	851	247,235
大阪	947	291,999
長崎	789	74,771
函館	437	43,339
計	1,068	288,234

第七章 横濱税關棧橋繫留船舶

三十五年中ニ於テ横濱税關棧橋ニ繫留ノ船舶艘數ハ百八拾四艘ニシテ此噸數四拾七萬八千九百參拾九噸ナリ今之ヲ前年ニ對照シ船舶ニ就テ觀察スルトキハ獨逸ニ四艘佛蘭西ニ七艘英吉利ニ拾艘ヲ減少スト雖モ本邦ノ分七拾八艘北米合衆國ノ分貳艘ヲ増加セシ爲メ差引五拾九艘ノ増加ヲ觀ルモノトス又噸數ニ在テハ拾壹萬四千參百八艘ノ増進ヲ呈セシハ艘數ノ増加ニ伴フモノトス即チ左表ノ如シ

國籍	艘數	噸數
日本	134	333,431
英國	21	98,870
佛蘭西	19	117,733
日	6	1,167
計	180	543,181

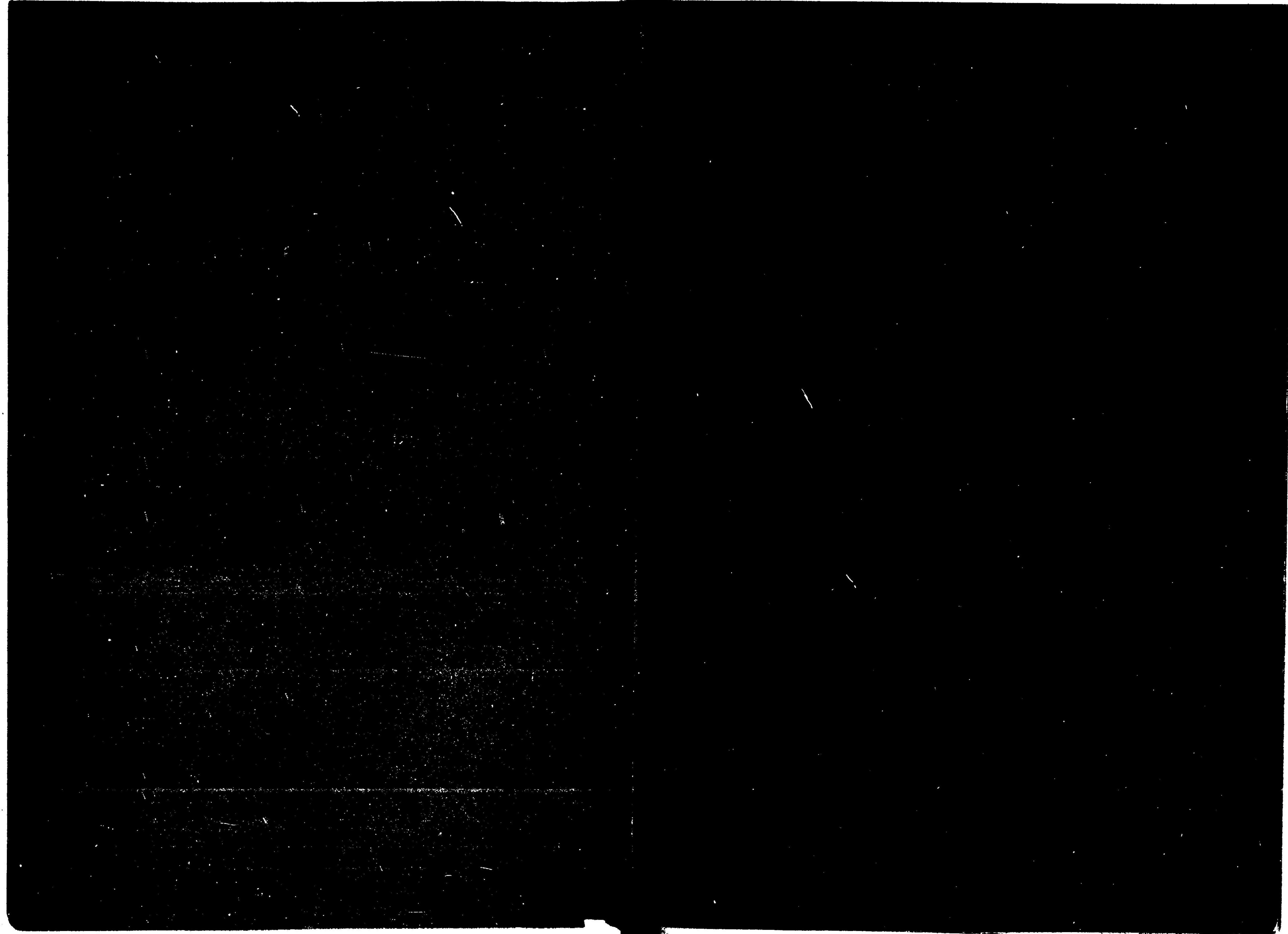
小包郵便物輸入件數及價額 横濱税關棧橋繫留船舶



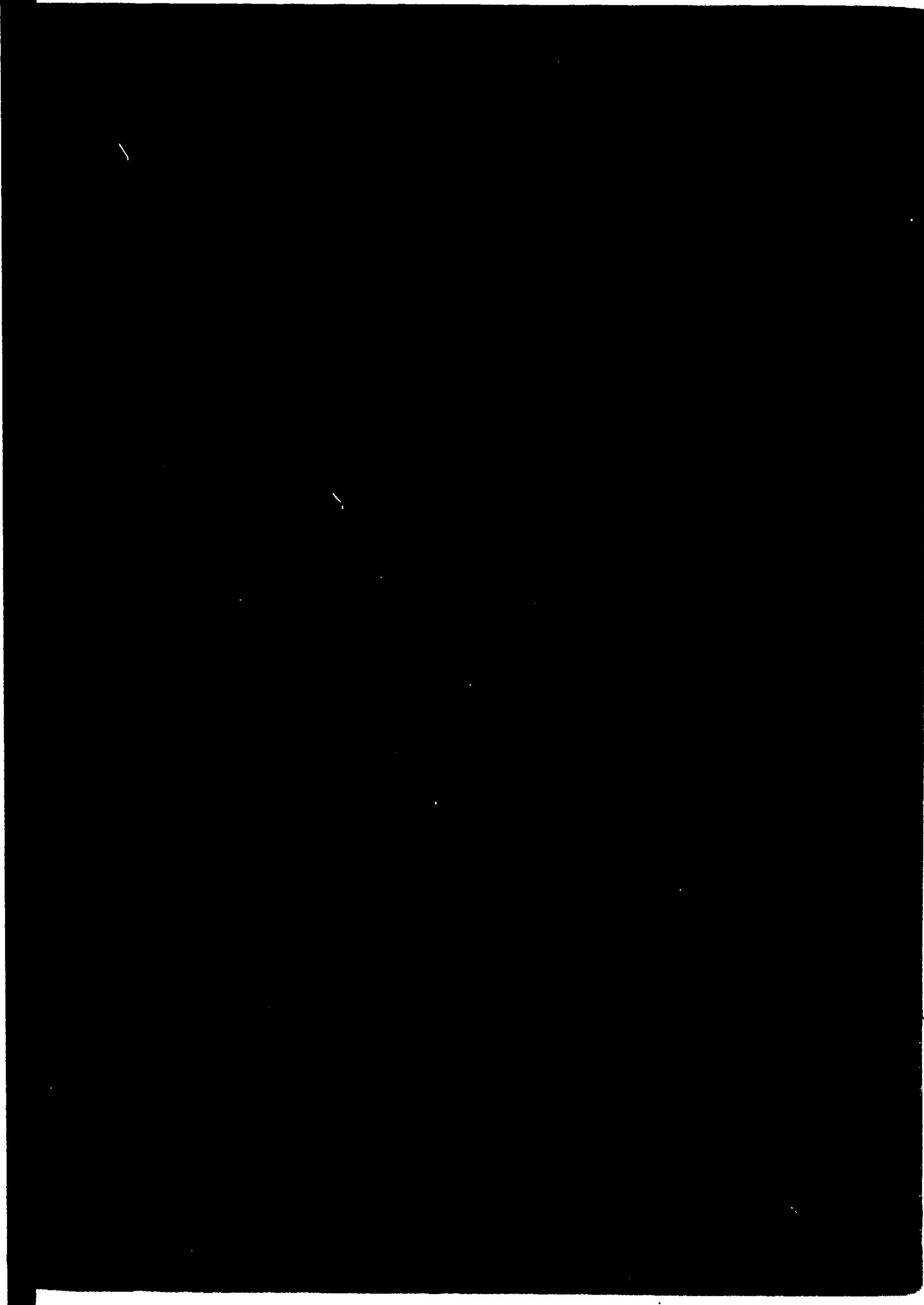
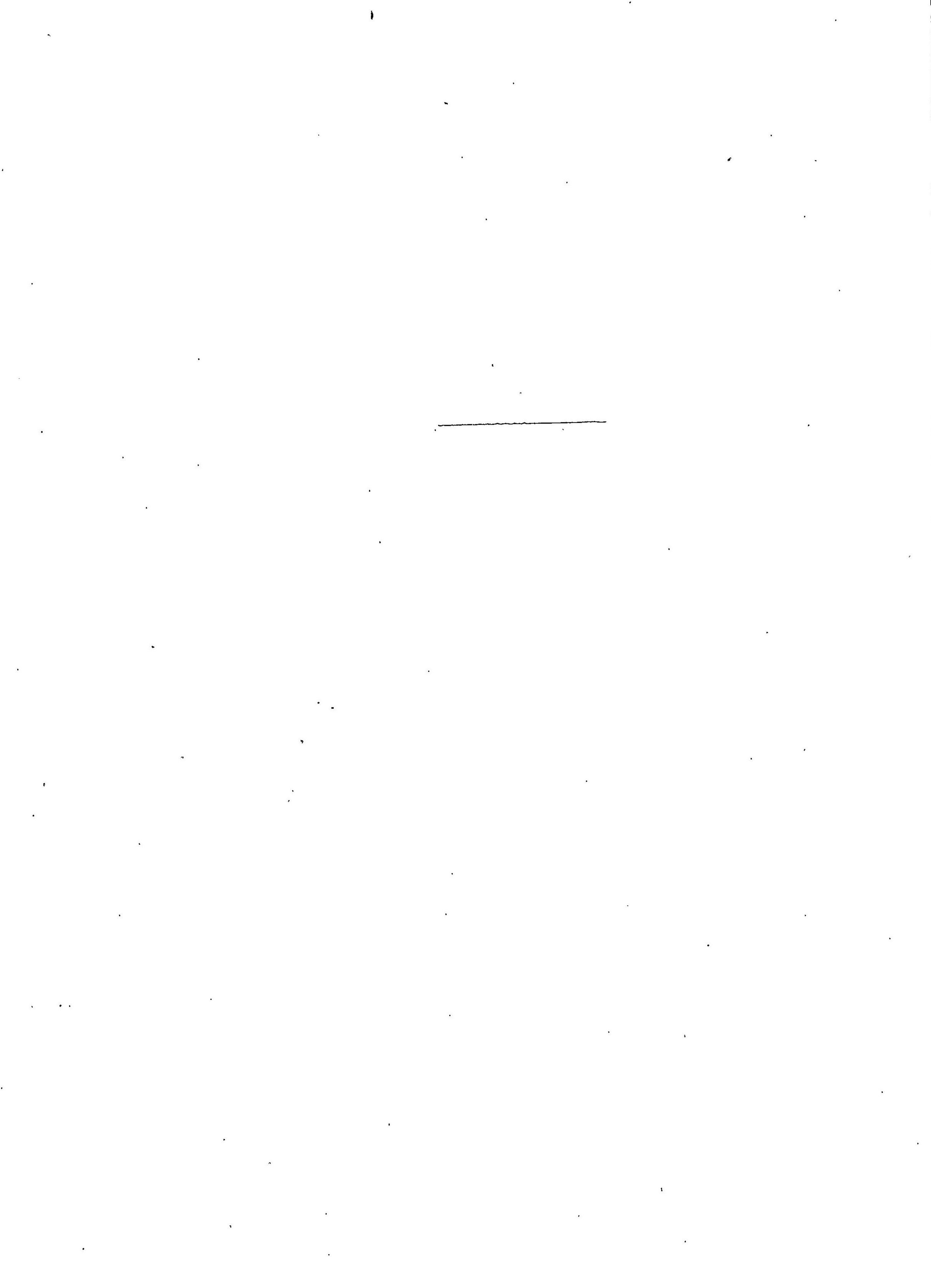
14

4

301



144
4
301



14.4

301

